

平成25年度
総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果
概要

平成25年12月



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

目 次

	ページ
I 総合型地域スポーツクラブ育成状況調査	
1 調査の概要	1
2 調査結果の概要	2
II 総合型地域スポーツクラブ活動状況調査	
1 調査の概要	4
2 調査結果の概要	
(1) クラブ会員	5
(2) クラブ会費	6
(3) 法人格の取得	7
(4) クラブの事故対策	9
(5) クラブの活動内容	10
(6) クラブ所属のスポーツ指導者	12
(7) クラブの事務局体制	14
(8) クラブの活動費	18
(9) スポーツ振興くじ助成	19
(10) クラブの活動拠点施設	21
(11) クラブハウス	22
(12) クラブの設立効果	23
(13) クラブの現在の課題	24
(14) クラブの特色ある取組	25

I 総合型地域スポーツクラブ育成状況調査

1 調査の概要

(1) 目的

全国において、創設された総合型地域スポーツクラブ及び創設準備中のクラブの状況を把握し、今後の総合型地域スポーツクラブの育成推進のための基礎資料とする。

(2) 対象

総合型地域スポーツクラブを育成している市区町村
総合型地域スポーツクラブ及び創設準備中のクラブ

(3) 実施期間

平成25年6月28日～7月31日

(4) 実施方法

各都道府県教育委員会（または担当部局）スポーツ主管課に対して、域内の総合型地域スポーツクラブを育成している市区町村及び創設された総合型地域スポーツクラブ並びに創設準備中のクラブの状況（平成25年7月1日現在）を調査。

(5) 調査票回収状況

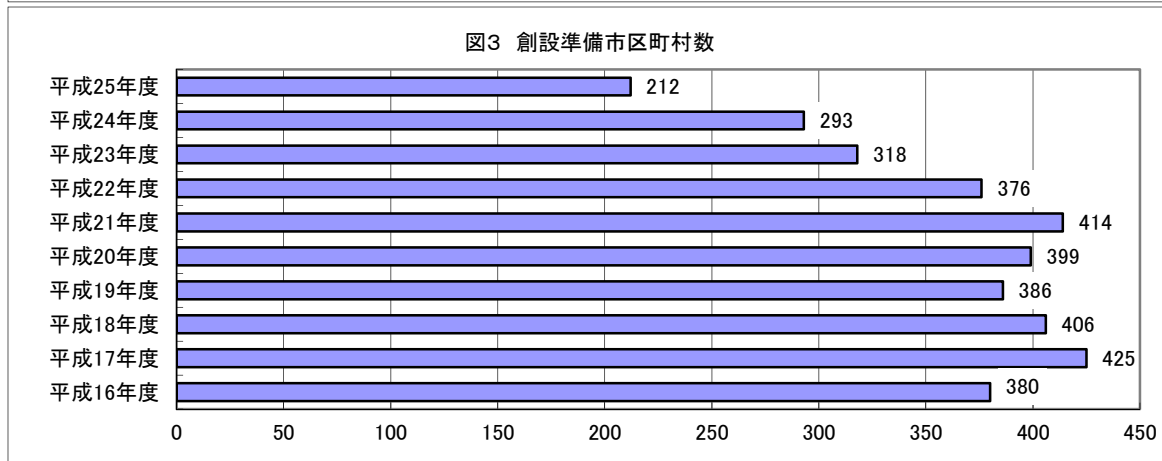
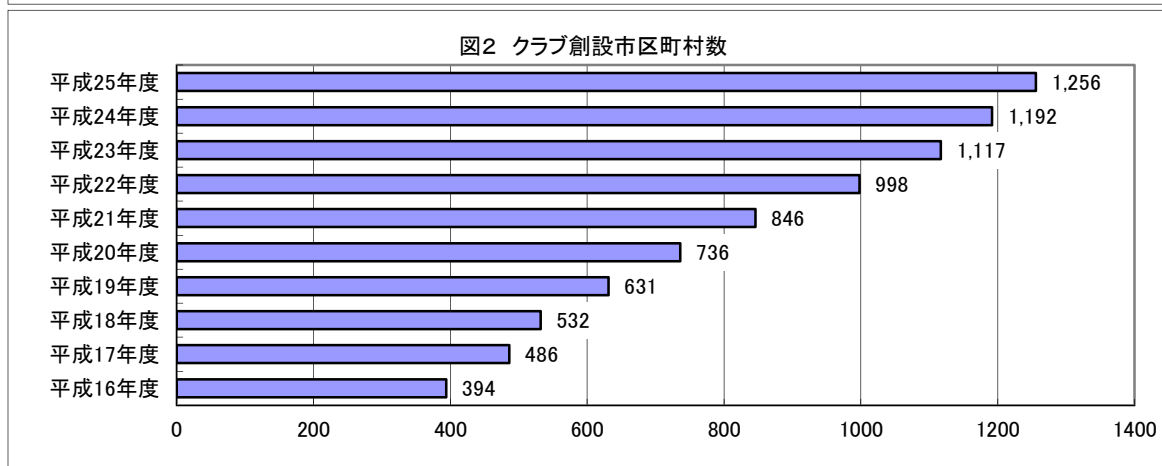
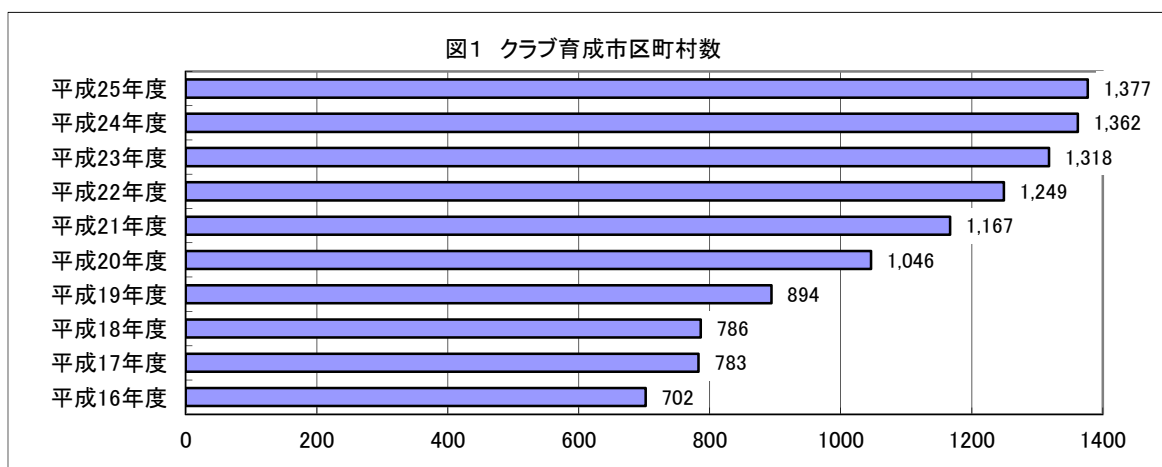
配布数 47 回収数 47 回収率 100%

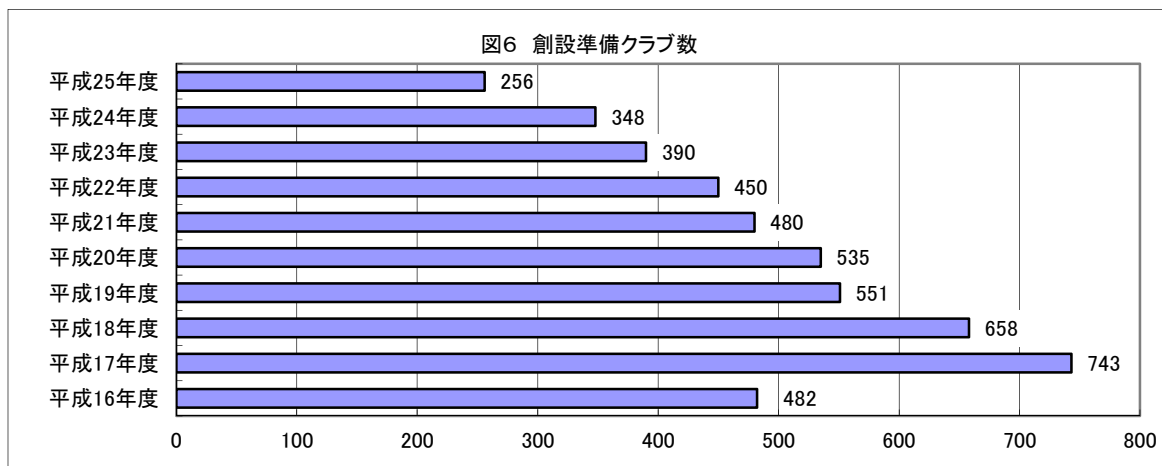
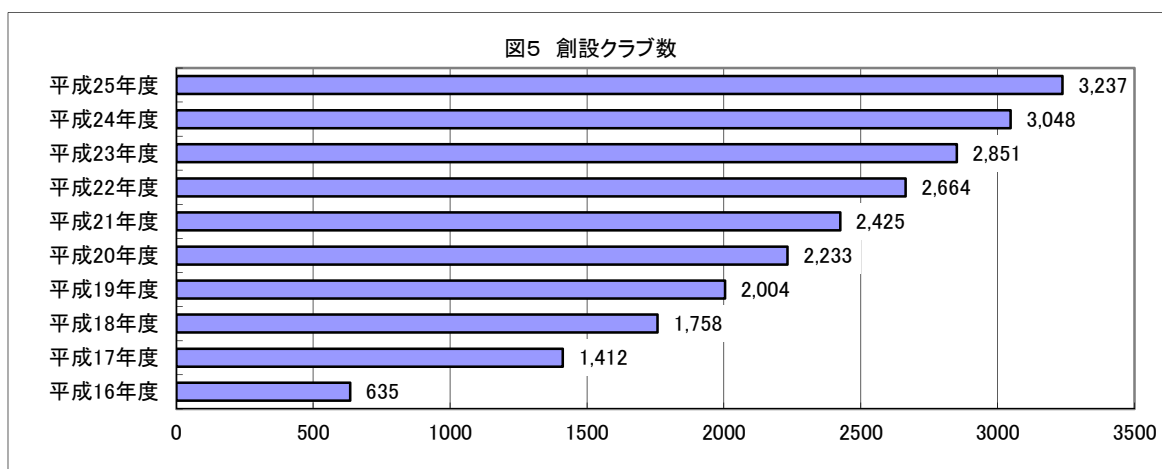
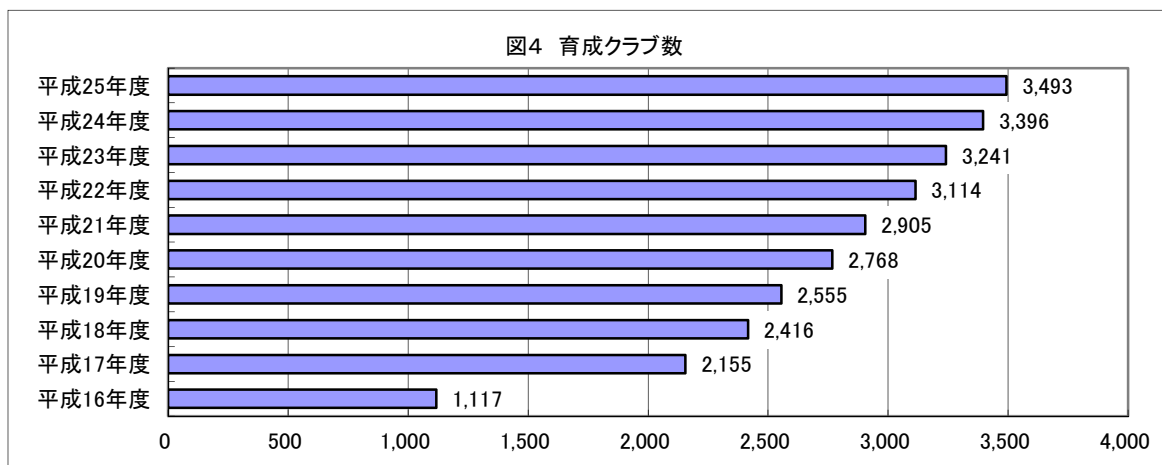
2 調査結果の概要

平成25年7月現在、全国では1,377の市区町村（1,742市区町村中）においてクラブが育成（創設及び創設準備）されている。その内訳をみると、1,256の市区町村においてクラブが既に創設されており、212の市区町村においてはクラブ創設準備中となっている。

また、全国で育成されているクラブ数をみると、3,493のクラブが育成されている。そのうち、3,237のクラブが既に創設されており、256のクラブが創設準備中となっている。

このうち、543クラブが法人格を有し、152クラブが指定管理者として公共施設の管理を行っている。





※参考（平成25年度のみ数値）

全国の 市区町村数	①創設済みクラブ数		①がある 市区町村数	②創設準備中 クラブ数	②がある 市区町村数	③育成クラブ 総数 (①+②)	③がある 市区町村数 *重複除く	法人格 取得	指定 管理者
		うち、 活動休止 中クラブ数							
1,742	3,237	32	1,256	256	212	3,493	1,377	543	152

Ⅱ 総合型地域スポーツクラブ活動状況調査

1 調査の概要

(1) 目的

全国において、創設された総合型地域スポーツクラブの活動内容、課題等を把握し、今後の総合型地域スポーツクラブの育成推進のための基礎資料とする。

(2) 対象

総合型地域スポーツクラブ

(3) 実施期間

平成25年6月28日～8月30日

(4) 実施方法

各都道府県教育委員会（または担当部局）スポーツ主管課を通じて、域内の総合型地域スポーツクラブに対して活動状況（平成25年7月1日現在）を調査。

(5) 調査票回収状況

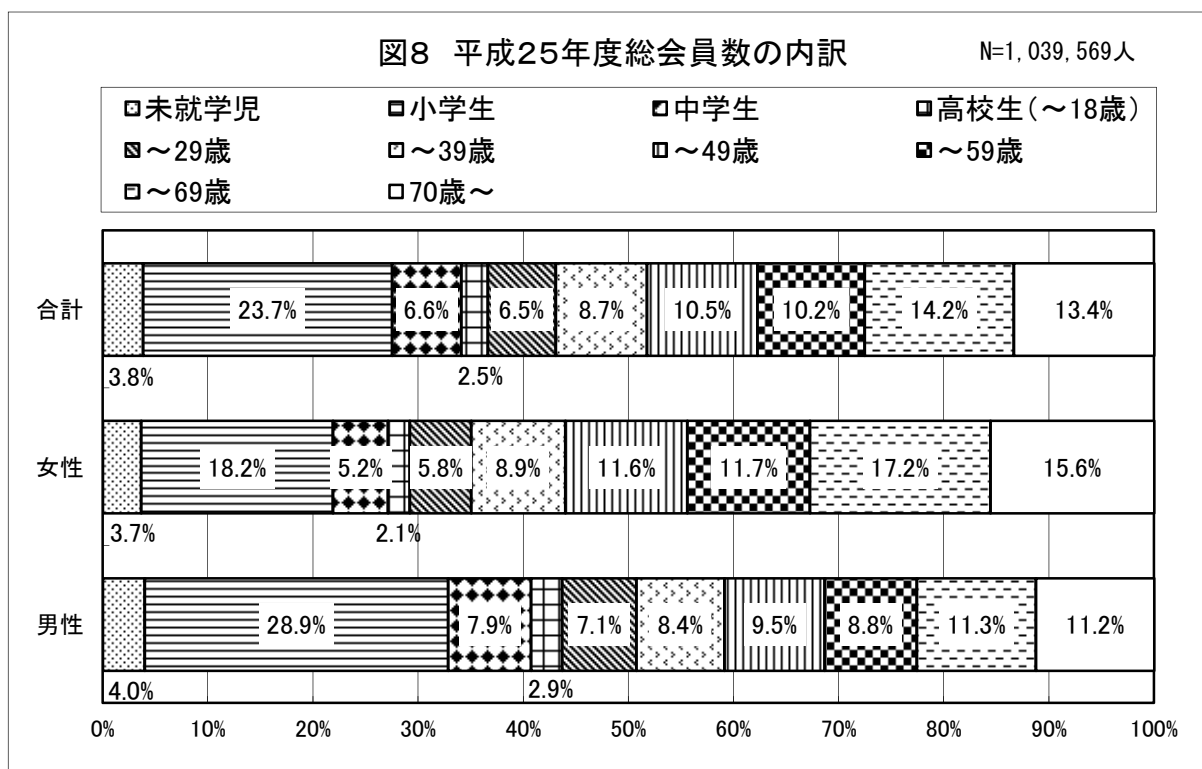
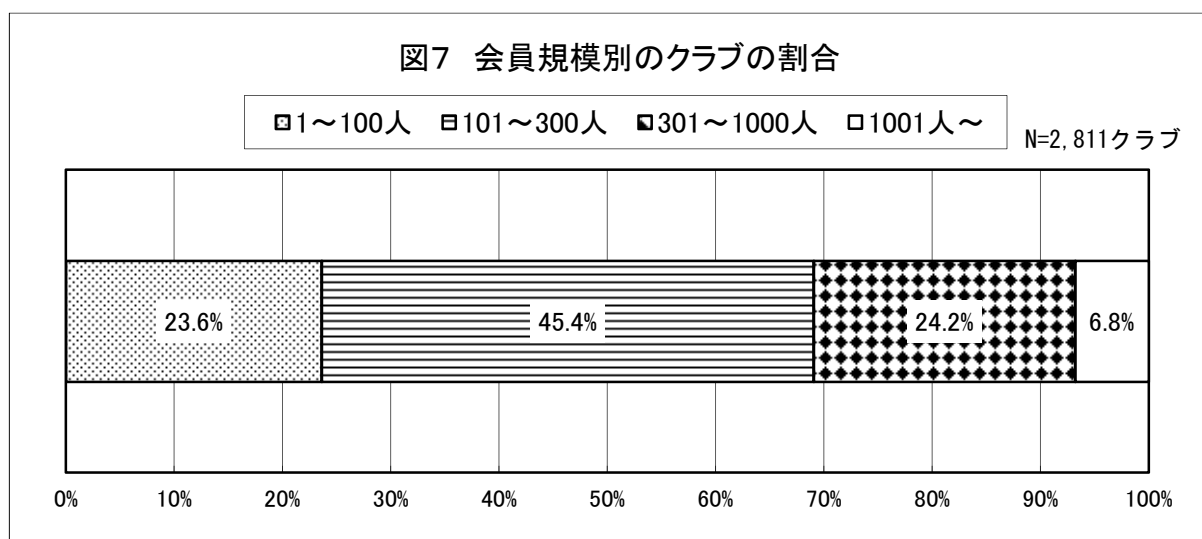
配布数 3, 205 回収数 2, 880 回収率 89. 9%

2 調査結果の概要

(1) クラブ会員

クラブの会員規模は、「101～300人」が45.4%（H24は44.9%）、「301～1,000人」が24.2%（H24は23.5%）、「1～100人」が23.6%（H24は23.9%）、となっている。

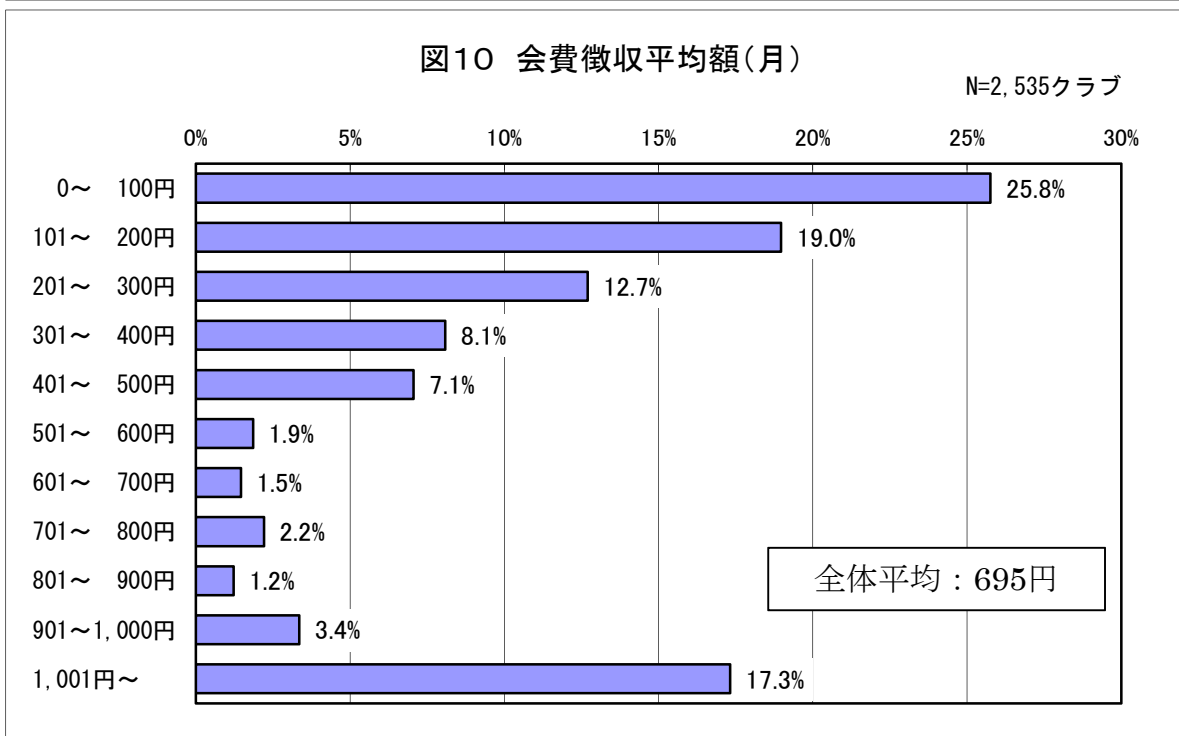
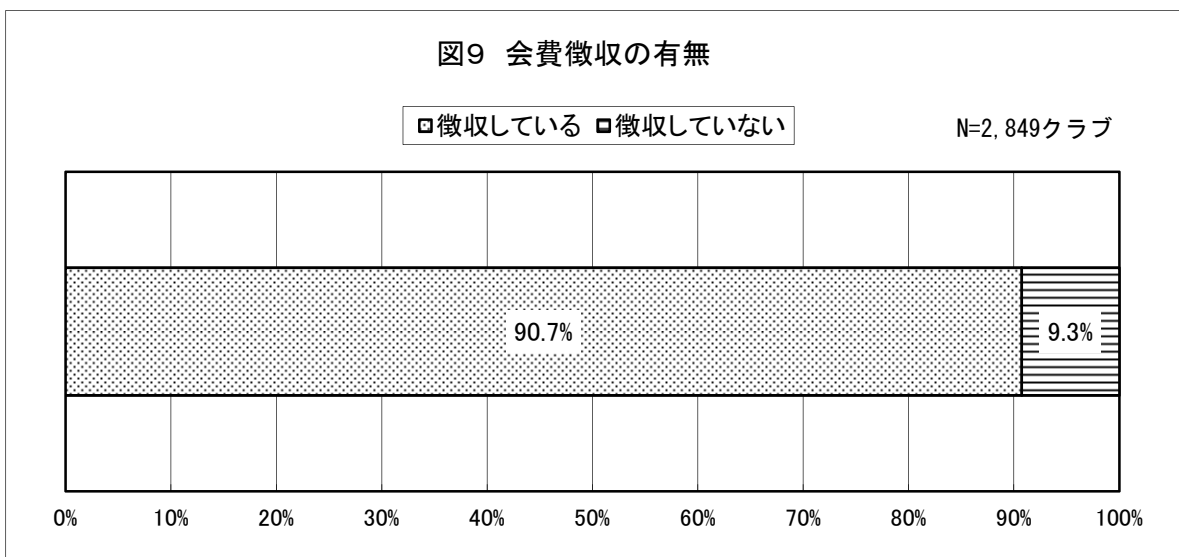
また、その内訳をみると、小学生が23.7%（H24は18.4%）と最も多く、続いて「60歳代」が14.2%（H24は14.1%）、「70歳以上」が13.4%（H24は13.6%）、「40歳代」が10.5%（H24は11.4%）となっている。



(2) クラブ会費

クラブの会費徴収は、「徴収している」が90.7%（H24は91.5%）であり、徴収しているクラブの会費平均額は695円/月（H24は685円）となっている。

また、徴収額別にみると、「0～100円/月」が25.8%（H24は24.8%）、「101～200円/月」が19.0%（H24は19.6%）、「1,001円～/月」が17.3%（H24は15.8%）、「201～300円/月」が12.7%（H24は14.4%）となっており、57.5%（H24は58.8%）のクラブが「300円/月」以下の会費を徴収している。



(3) 法人格の取得について

法人格取得済みクラブは 17.7% (H24 は 15.9%)、取得していないクラブは 82.3% (H24 は 84.1%) である。法人格の種類は NPO 法人が 455 クラブ (H24 は 395 クラブ) と最も多く、続いて一般社団法人が 16 クラブ (H24 は 11 クラブ) となっている。

また、取得していないクラブの取得意向の有無については、「意向なし」が最も多く、1,569 クラブ (H24 は 1,502 クラブ)、続いて「意向はあるが予定なし」が 518 クラブ (H24 は 525 クラブ)、「予定あり」が 168 クラブ (H24 は 160 クラブ) となっている。

なお、取得予定のクラブの取得予定年度は、「26 年度」が最も多く 56 クラブであり、続いて「25 年度」が 52 クラブ、「27 年度」が 23 クラブ、「28 年度以降」が 18 クラブ、「未定」が 1 クラブとなっている。

※年度は 4 月～翌年 3 月まで

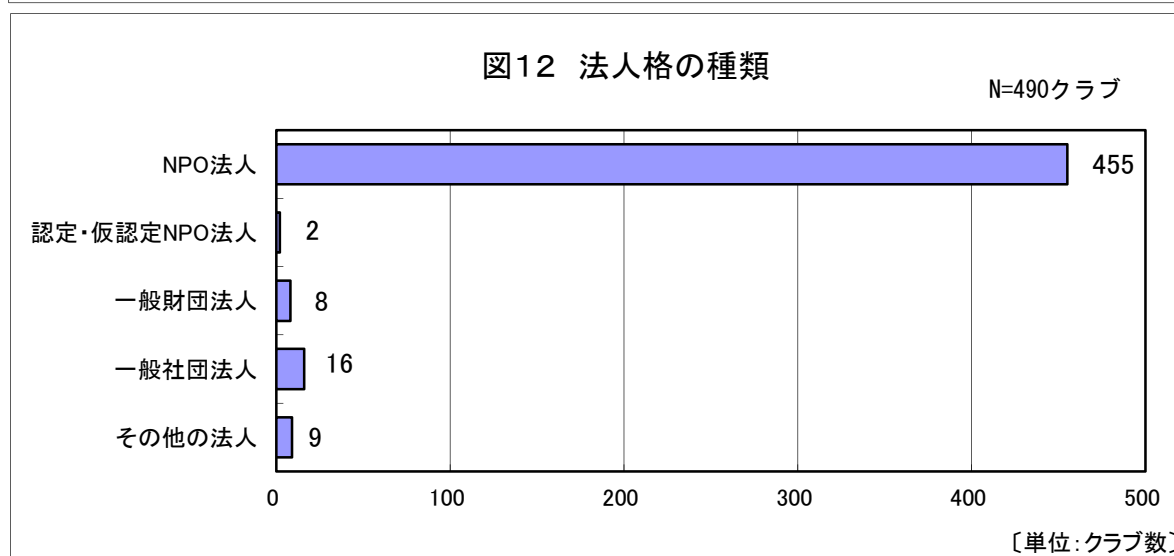
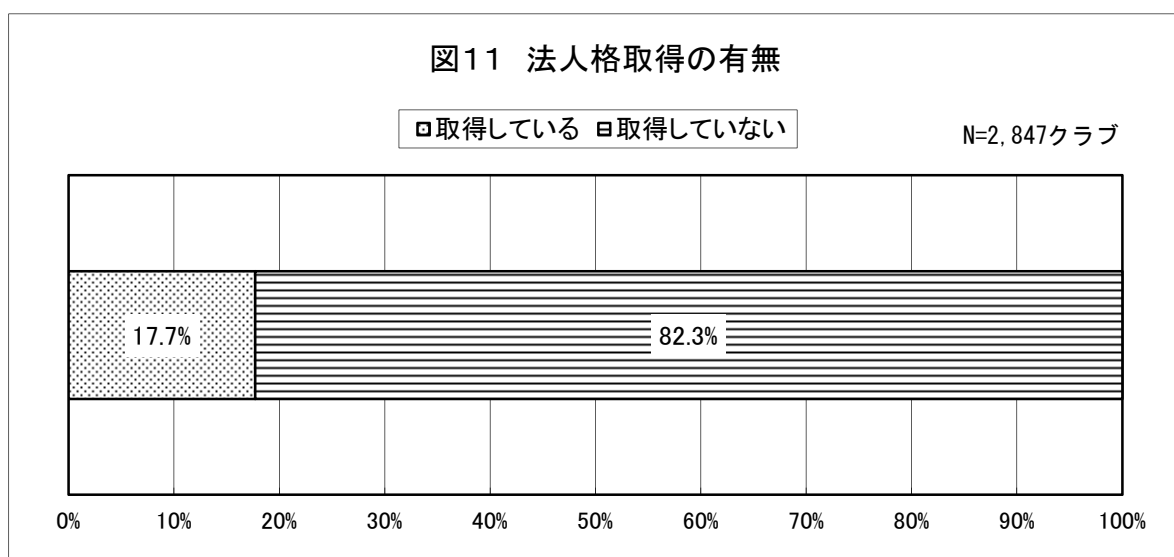


図13 取得意向の有無

N=2,255クラブ

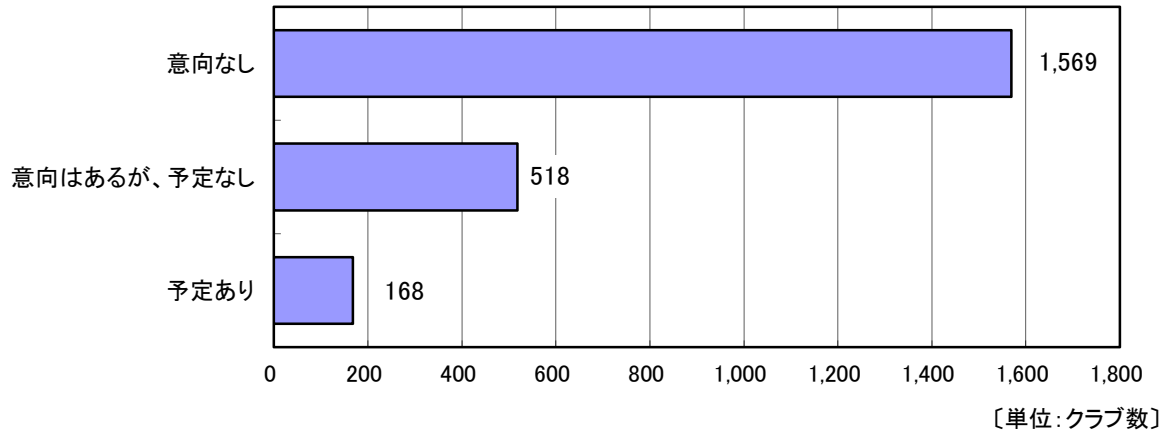
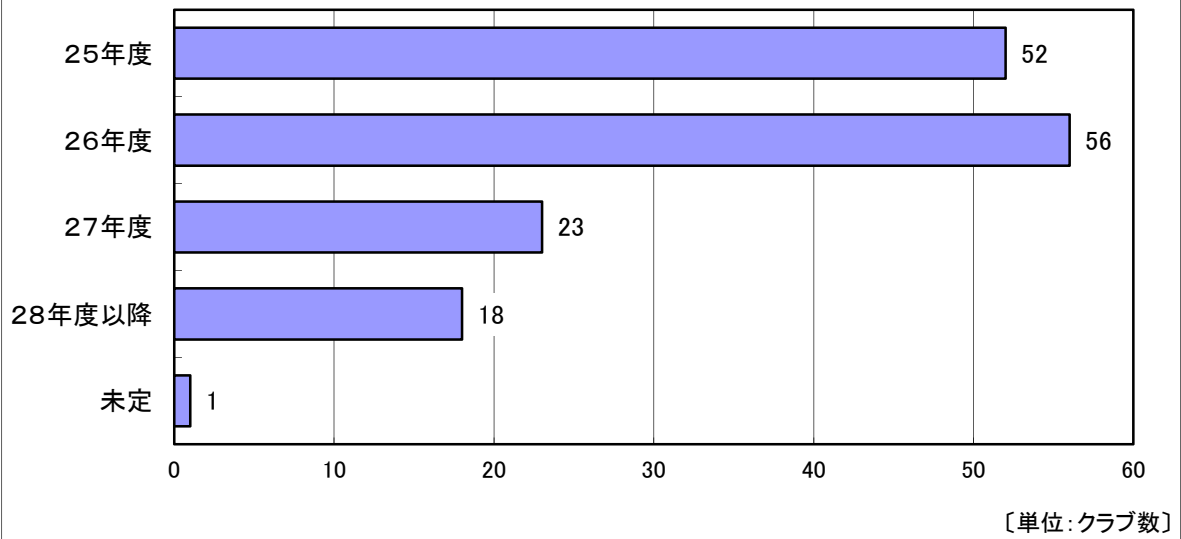


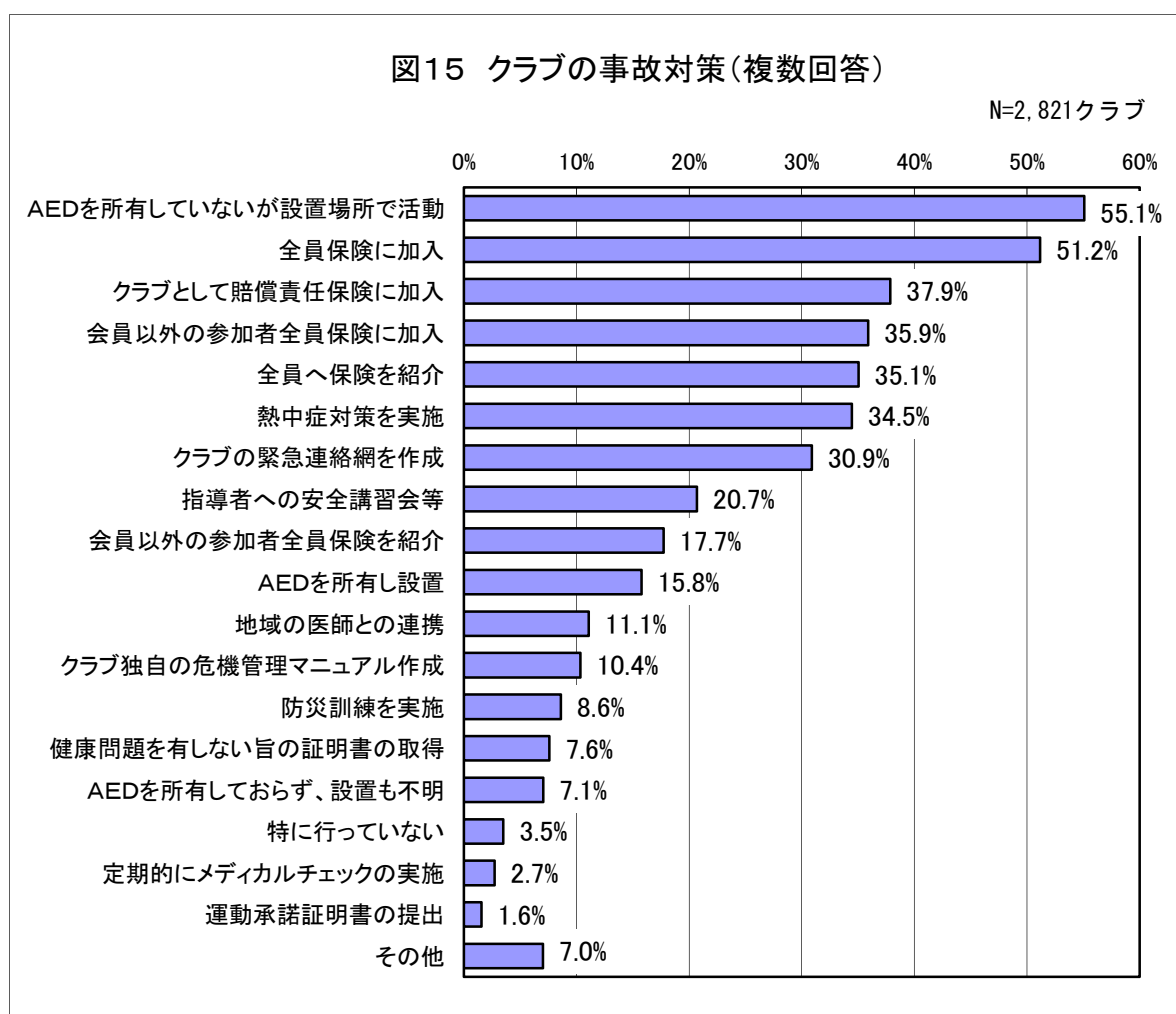
図14 取得の予定年度

N=150クラブ



(4) クラブの事故対策

クラブの事故対策は、「AEDを所有していないが設置場所で活動」が55.1%（H24は42.7%）と最も多く、続いて「全員保険に加入」が51.2%（H24は54.4%）、「クラブとして賠償責任保険に加入」が37.9%（H24は38.4%）、続いて「会員以外の参加者全員保険に加入」が35.9%（H24は32.3%）、「全員へ保険を紹介」が35.1%（H24は30.1%）、「熱中症対策を実施」が34.5%（H24は29.6%）となっている。



(5) クラブの活動内容

クラブのスポーツ・レクリエーション活動種目は、「6～10種目以上」が39.6%（H24は40.3%）と最も多く、続いて「11～20種目」が26.3%（H24は26.2%）であり、6種目以上の活動を行っているクラブは、69.3%（H24は69.9%）となっている。

クラブの文化活動種目は、「1～2種目」が71.4%（H24は71.4%）と最も多く、続いて「3～5種目」が21.4%（H24は20.9%）、「6～9種目」が5.6%（H24は5.6%）となっている。

定期活動種目以外の活動内容としては、「スポーツ・レクリエーション大会・地域の運動会」が72.3%（H24は69.0%）、「交流イベント」が63.2%（H24は57.8%）と多く、続いて「講習会・研修会」が38.6%（H24は35.5%）となっている。

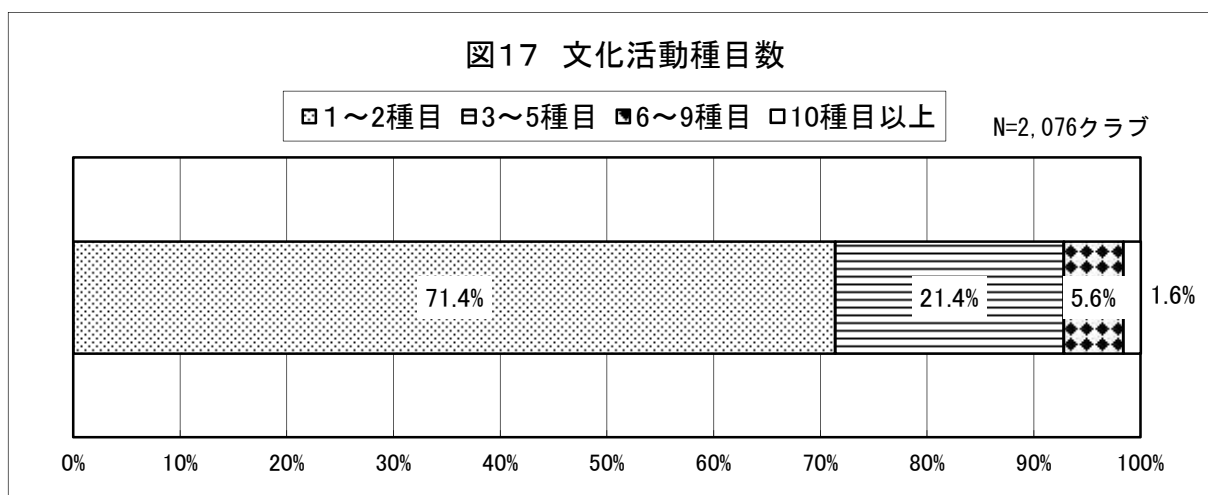
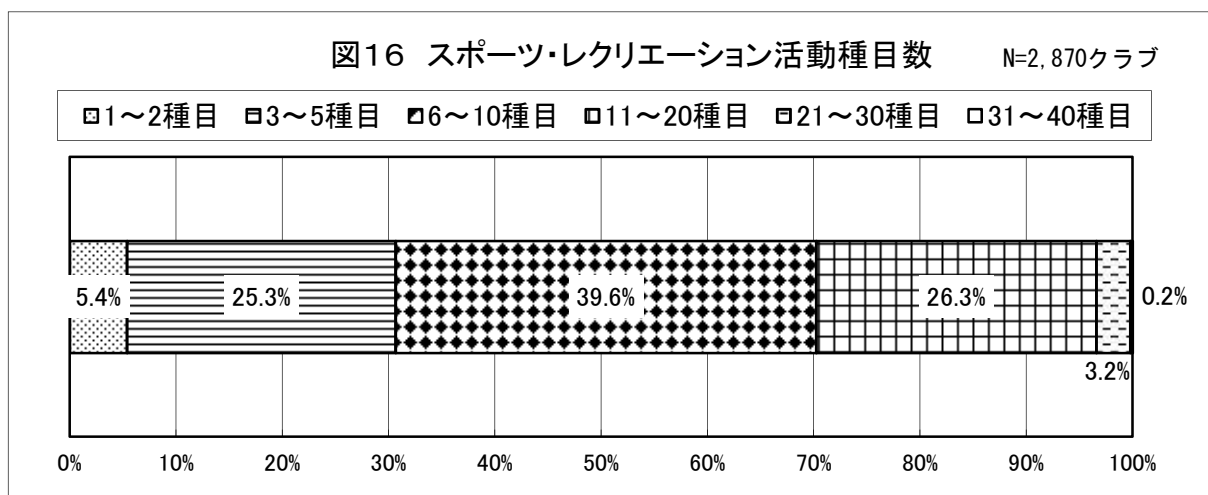


図18 種目別クラブ数（複数回答）

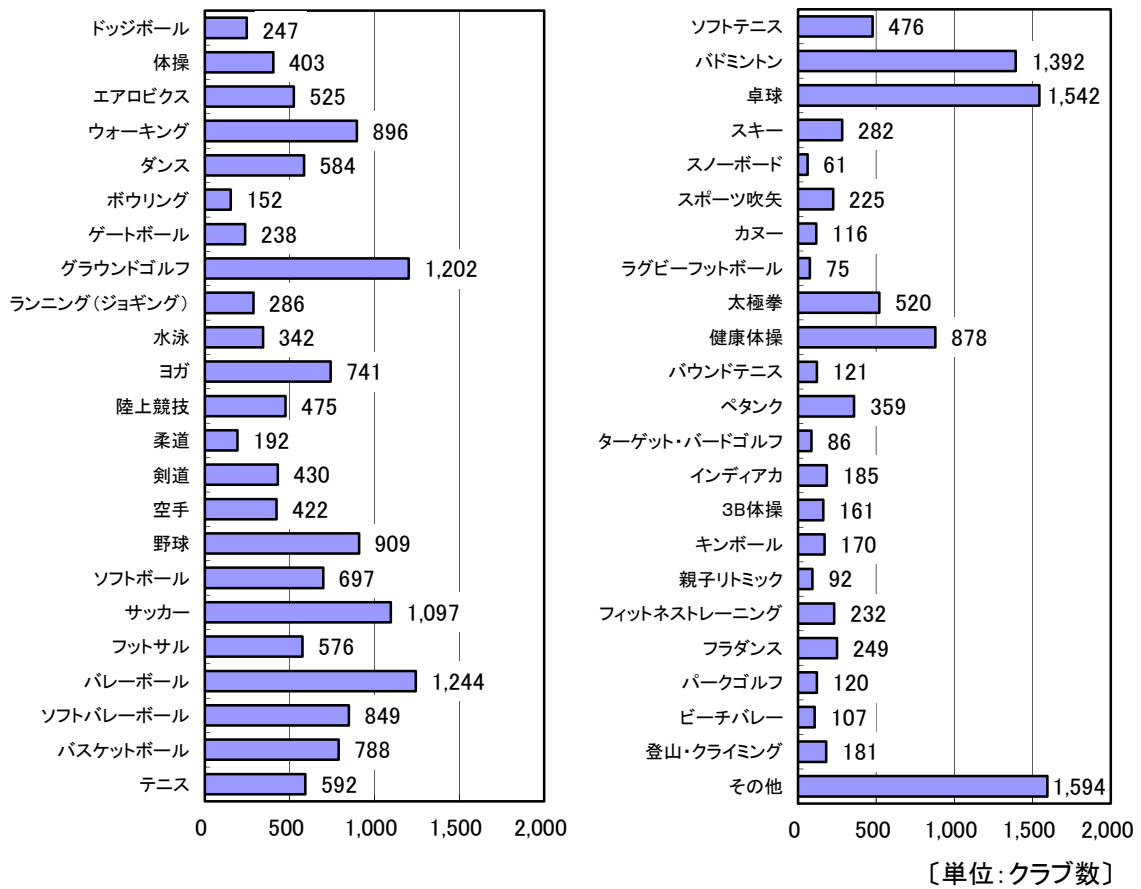
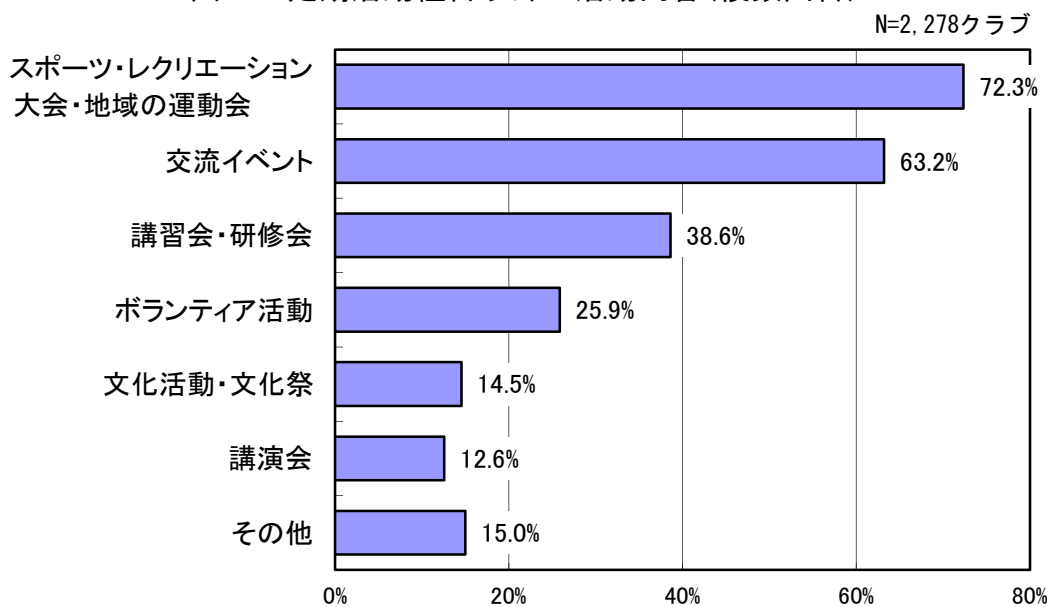


図19 定期活動種目以外の活動内容（複数回答）



(6) クラブ所属のスポーツ指導者

スポーツ指導者は、1クラブに平均20人（H24は20人）が所属しており、そのうち「有資格者」は45.5%（H24は44.4%）、「資格を持たない指導者」は54.5%（H24は55.6%）となっている。

また、手当が支給されているスポーツ指導者は、「有資格者」では54.1%（H24は61.1%）、「資格を持たない指導者」では39.4%（H24は45.4%）となっている。

手当の平均額は、「有資格者」では3,136円/回（H24は3,323円/回）、「資格を持たない指導者」では1,668円/回（H24は1,632円/回）、全体平均では2,452円/回（H24は2,509円/回）となっている。

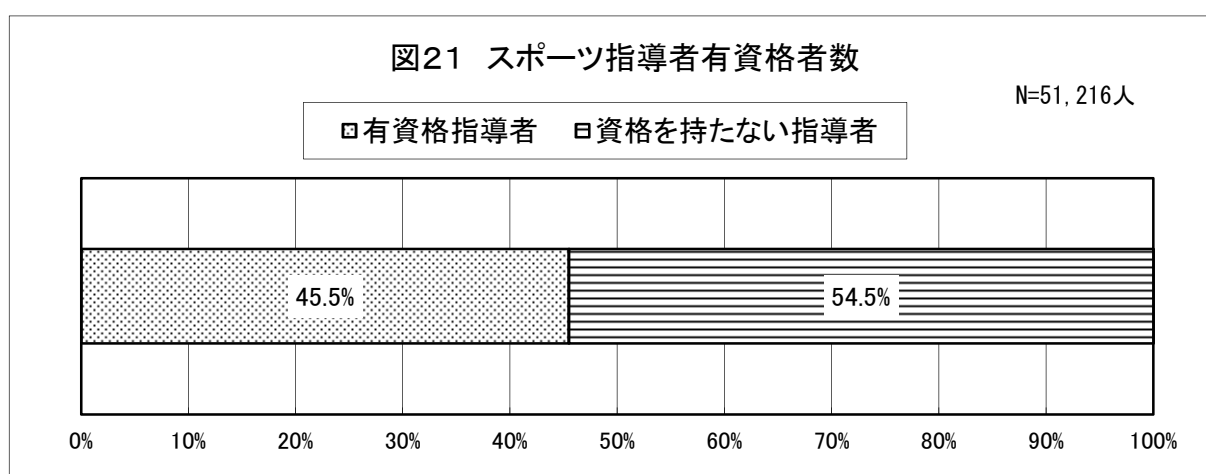
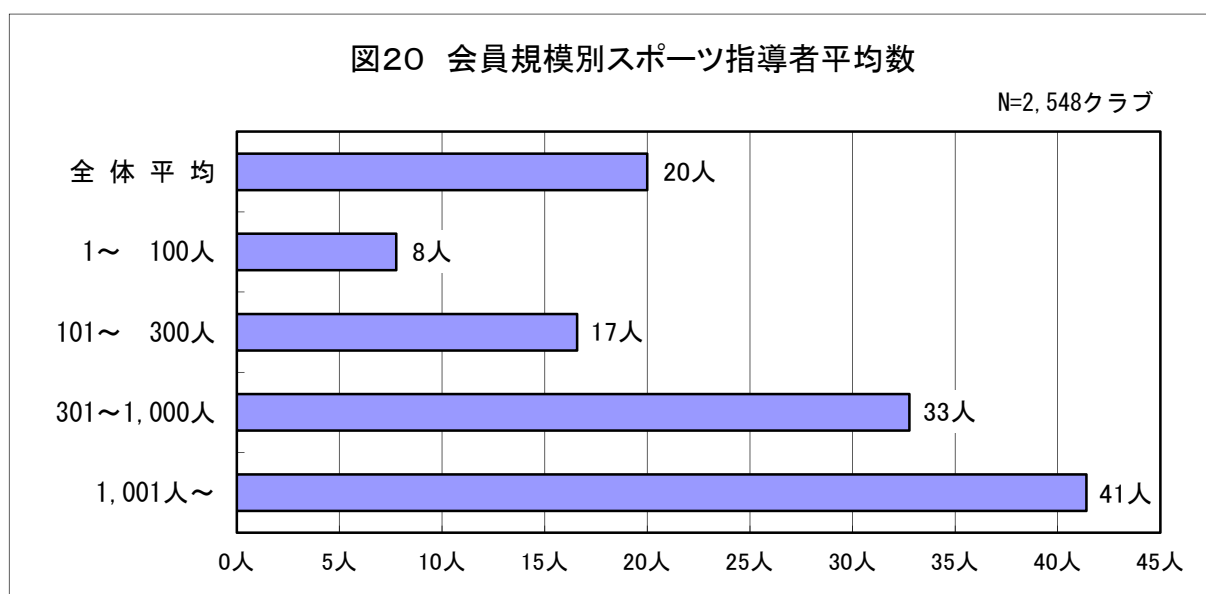


図22 スポーツ指導者の手当の有無【有資格指導者】

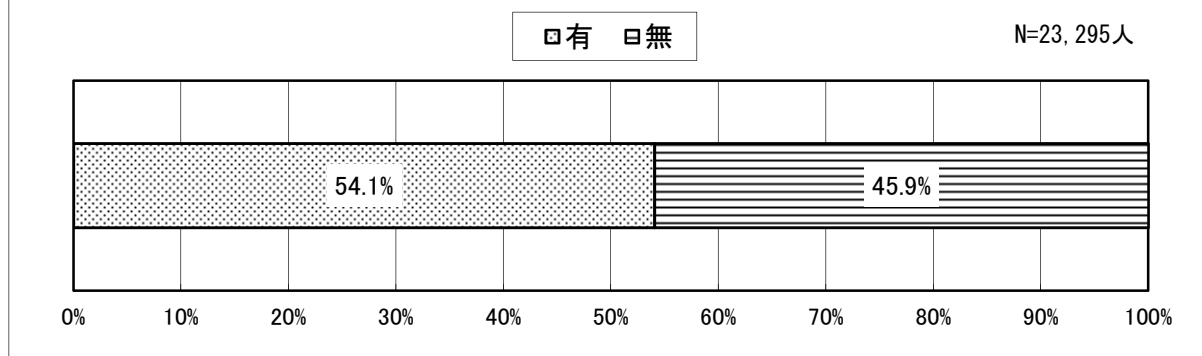


図23 スポーツ指導者の手当の有無【資格を持たない指導者】

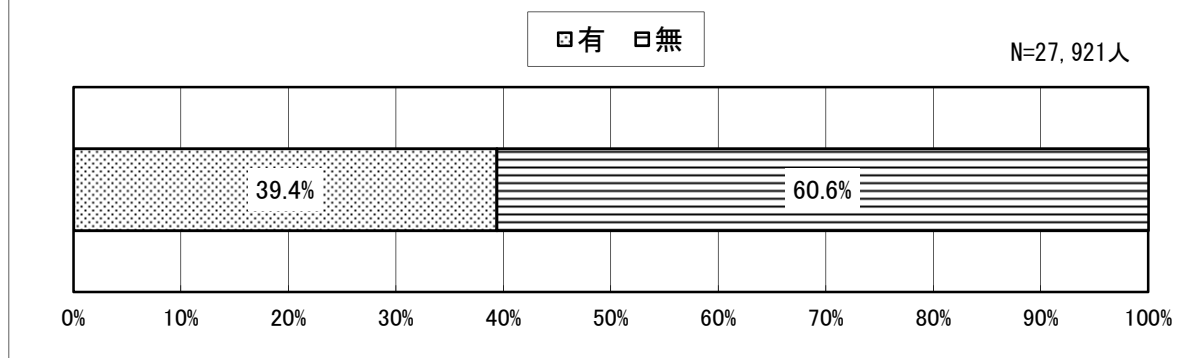
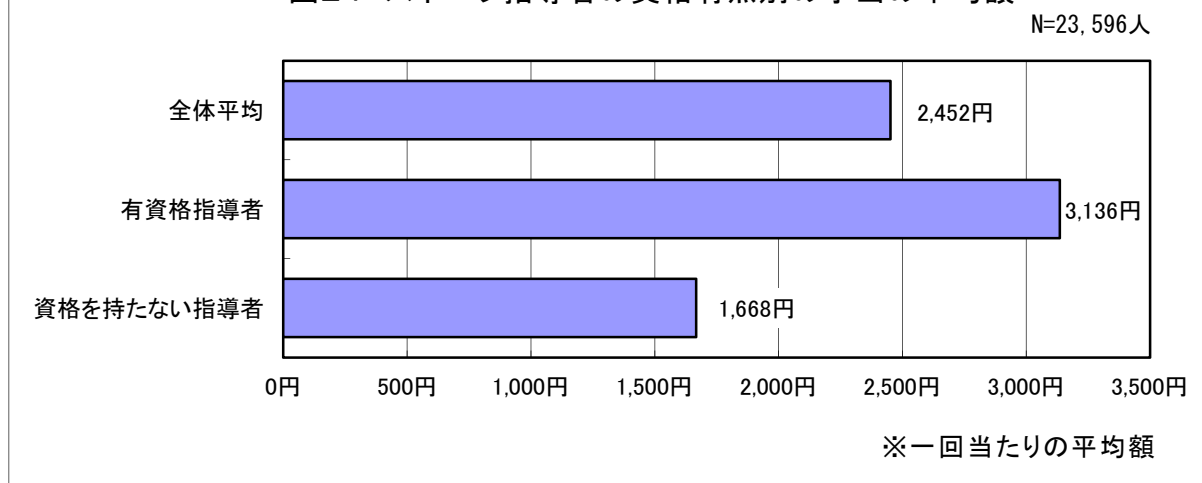


図24 スポーツ指導者の資格有無別の手当の平均額



(7) クラブの事務局体制

①クラブマネジャー

クラブにおけるクラブマネジャーの配置は、「配置している」が51.1%（H24は52.3%）、「配置していない」が48.9%（H24は47.7%）となっている。

クラブマネジャーの勤務形態をみると、「常勤」が43.8%（H24は43.7%）、「非常勤」が56.2%（H24は56.3%）となっている。

手当が支給されているクラブマネジャーは「常勤」では88.0%（H24は85.0%）、「非常勤」では45.6%（H24は41.7%）となっている。

手当の平均額は、「常勤」では8,192円/日（H24は8,324円/日）、「非常勤」では4,206円/日（H24は4,662円/日）で、全体では6,601円/日（H24は6,905円/日）となっている。

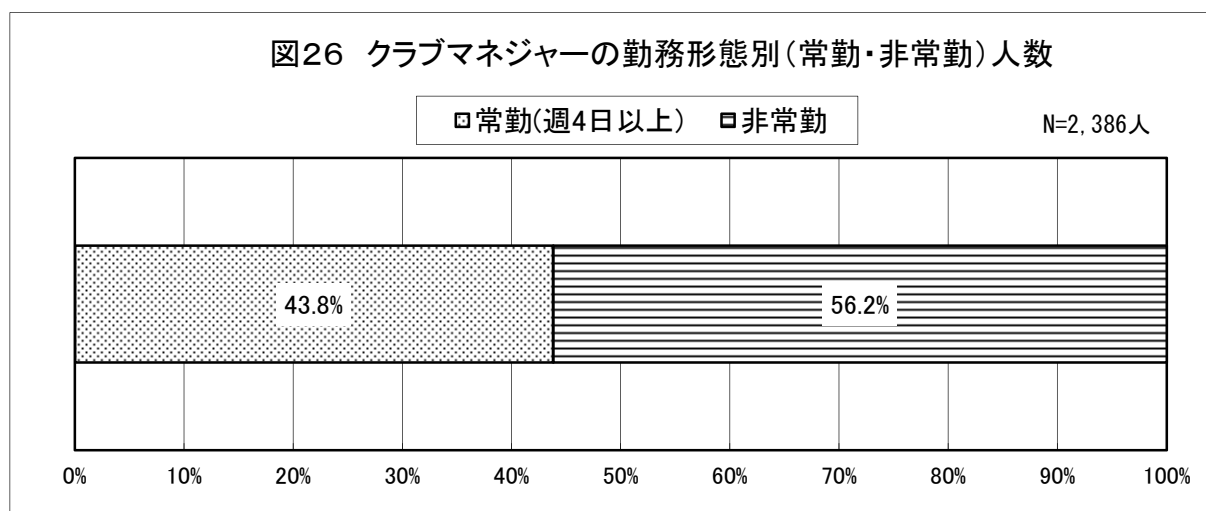
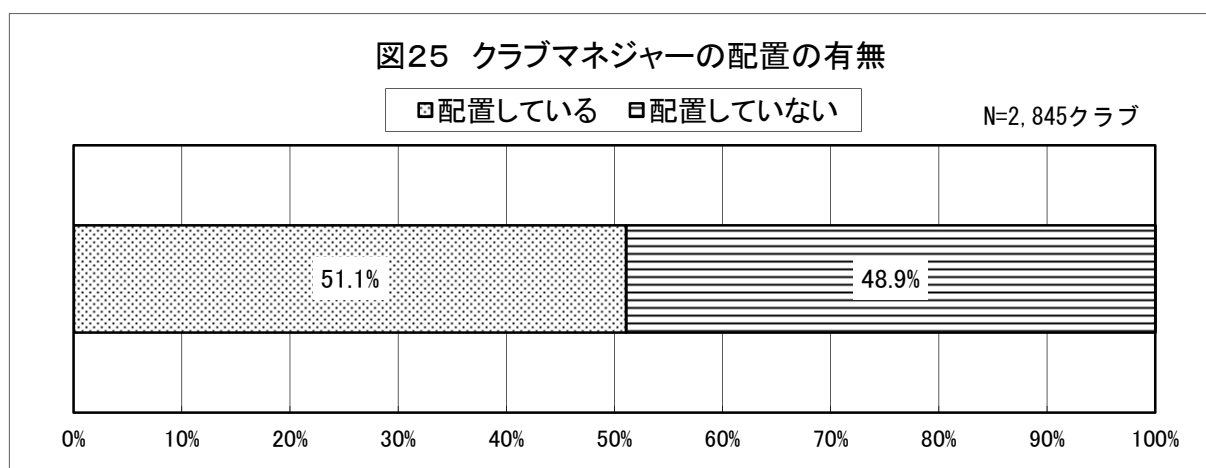


図27 クラブマネジャーの手当の有無【常勤】

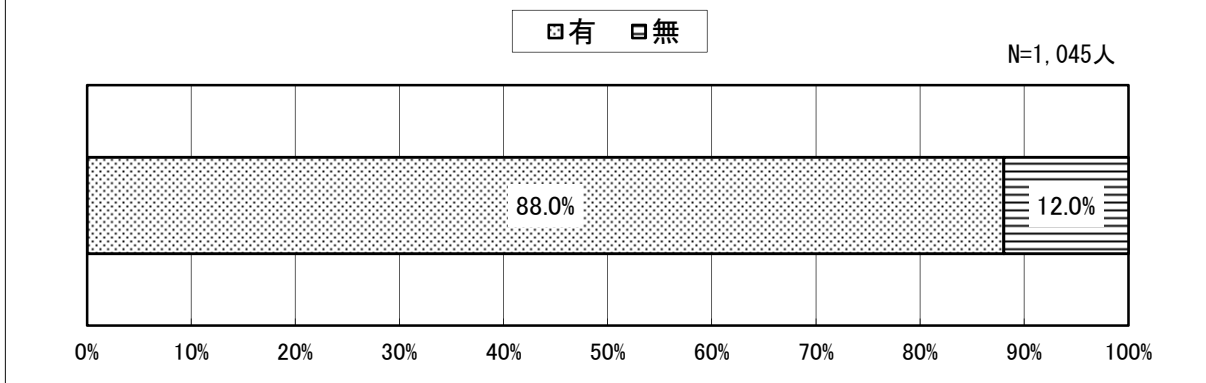


図28 クラブマネジャーの手当の有無【非常勤】

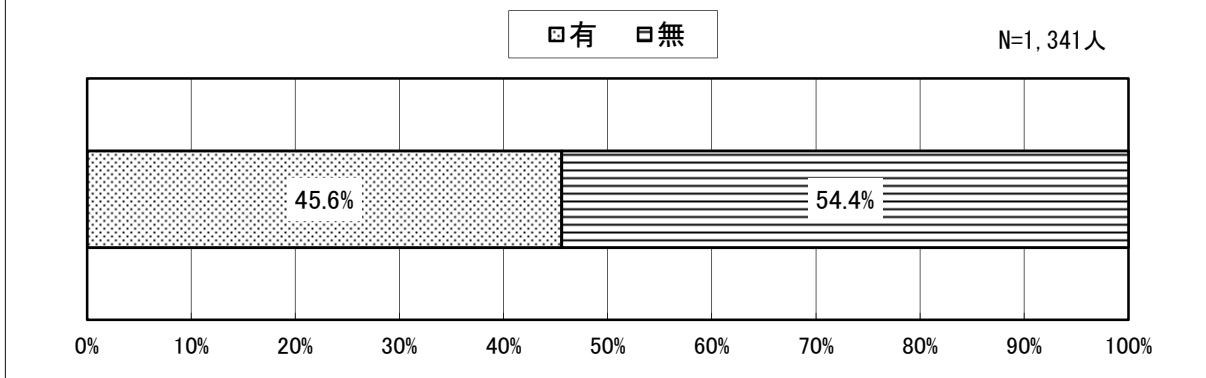
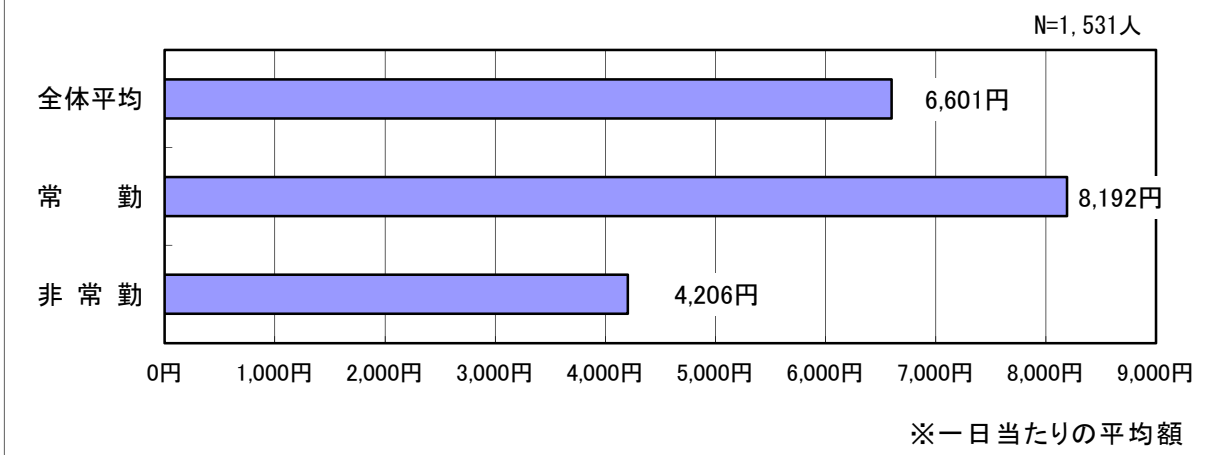


図29 クラブマネジャーの勤務形態別(常勤・非常勤)の手当の平均額



②事務局員

クラブにおける事務局員の配置は、「配置している」が54.9%（H24は56.7%）、
「配置していない」が45.1%（H24は43.3%）となっている。

クラブに配置されている事務局員の勤務形態をみると、「常勤」が26.7%（H24は26.9%）、
「非常勤」が73.3%（H24は73.1%）となっており、手当が支給されている事務局員は、「常勤」では63.8%（H24は70.8%）、
「非常勤」では35.7%（H24は36.2%）となっている。

手当の平均額は、「常勤」では6,188円/日（H24は6,508円/日）、
「非常勤」では2,986円/日（H24は3,010円/日）で、全体の平均としては4,250円/日
（H24は4,474円/日）となっている。

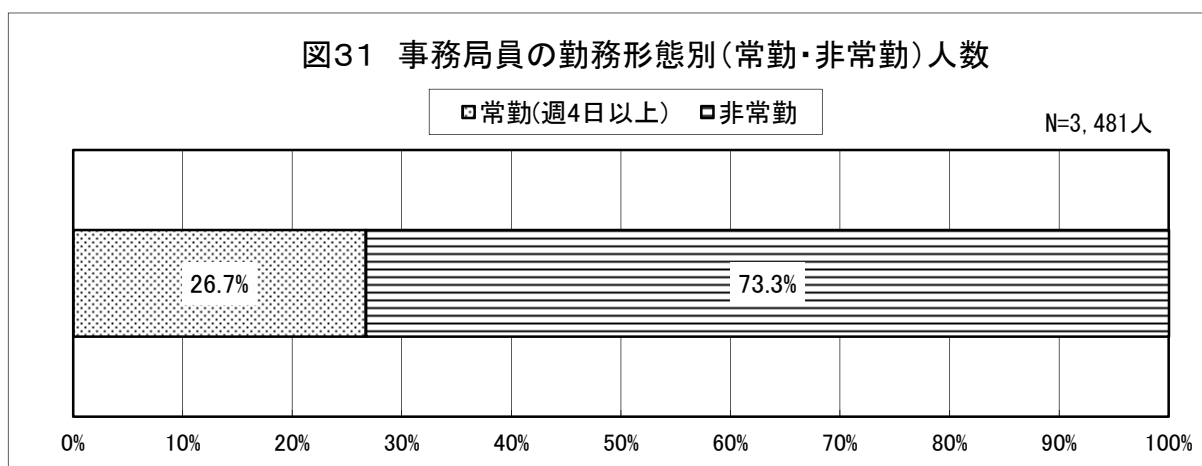
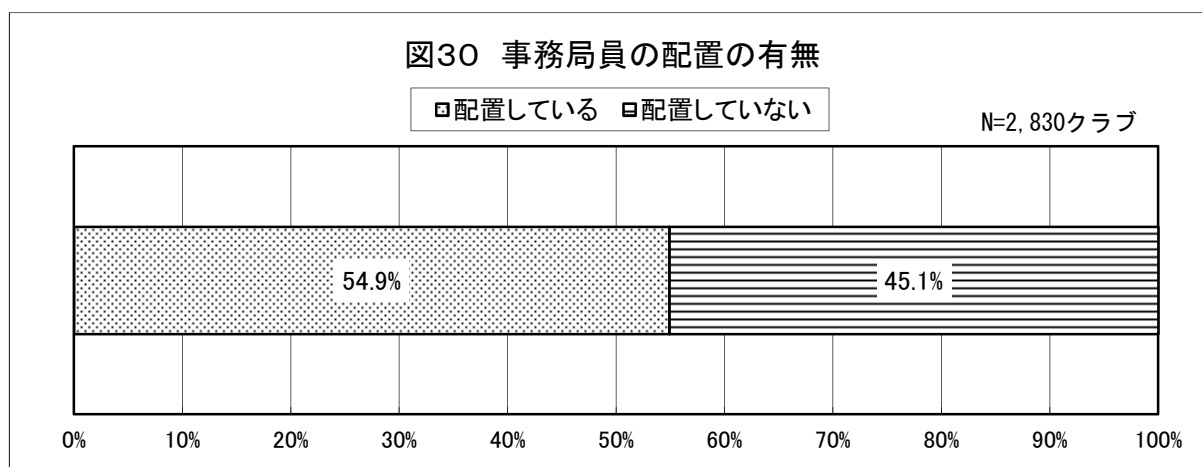


図32 事務局員の手当の有無【常勤】

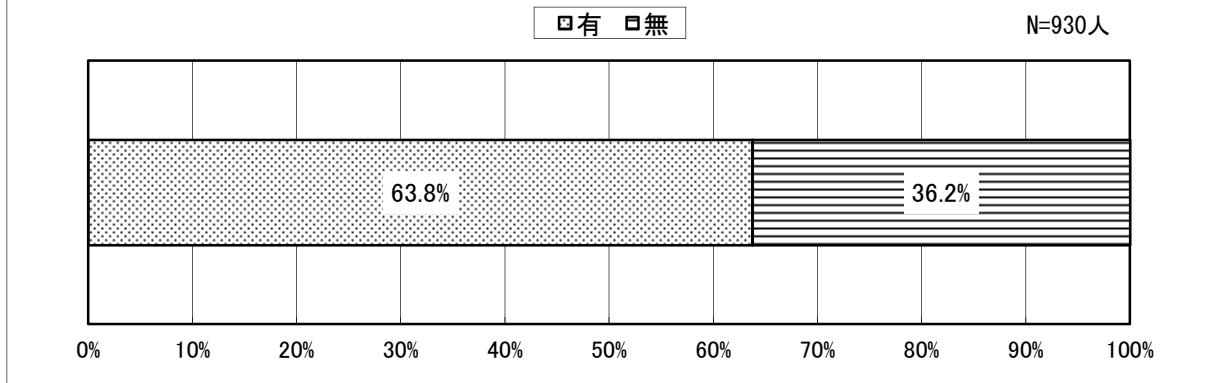


図33 事務局員の手当の有無【非常勤】

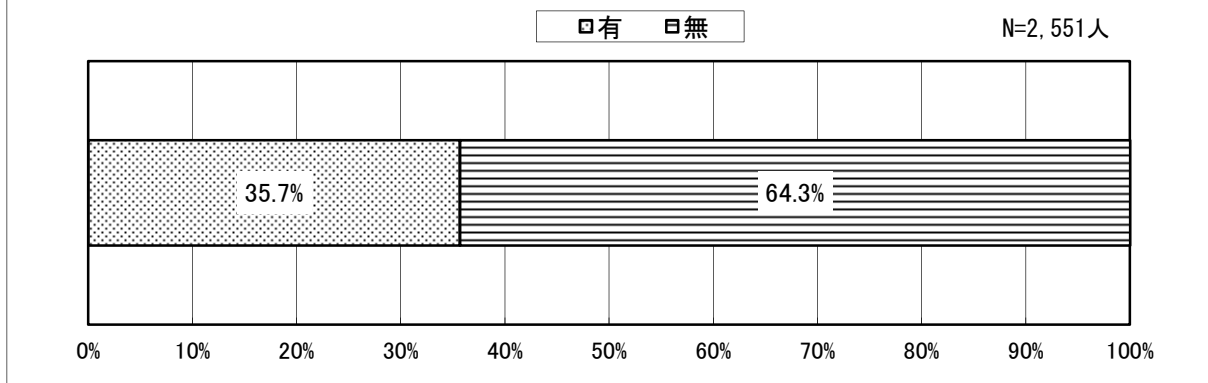
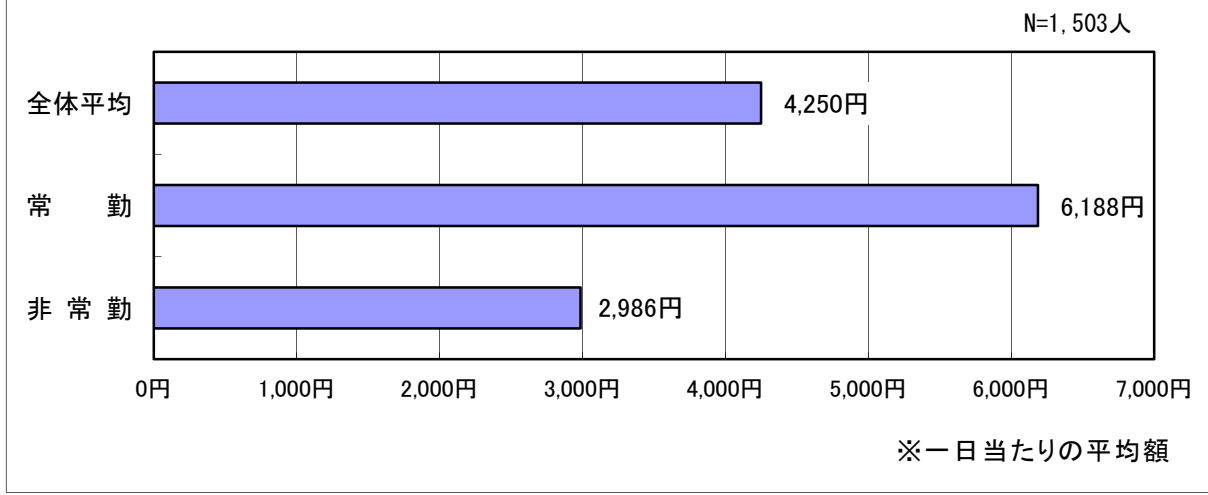


図34 事務局員の勤務形態別(常勤・非常勤)の手当の平均額



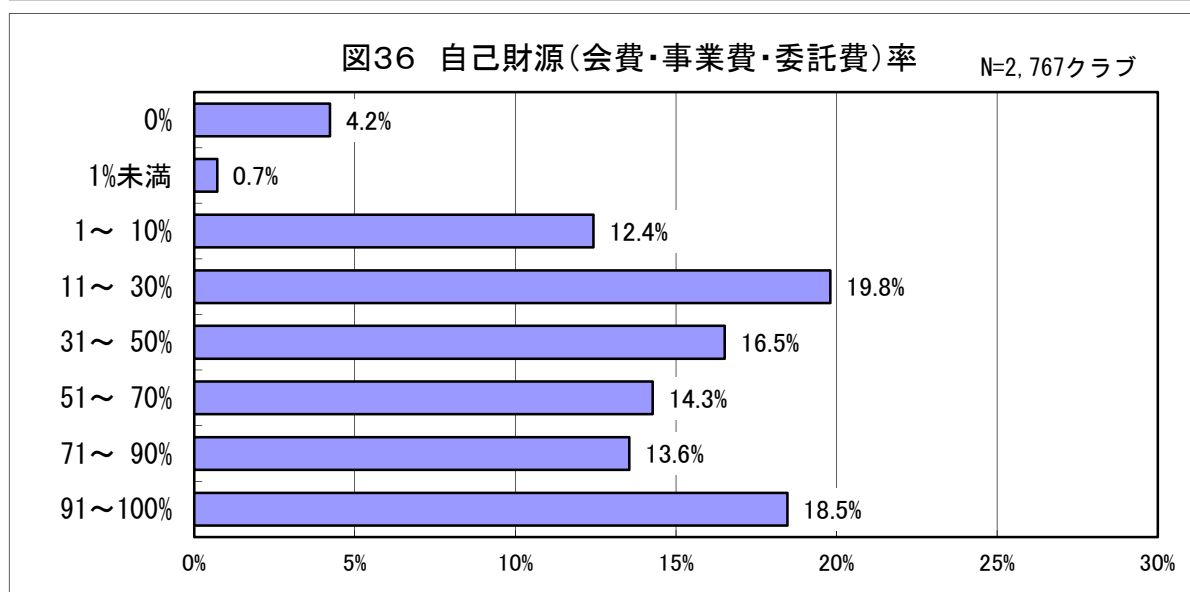
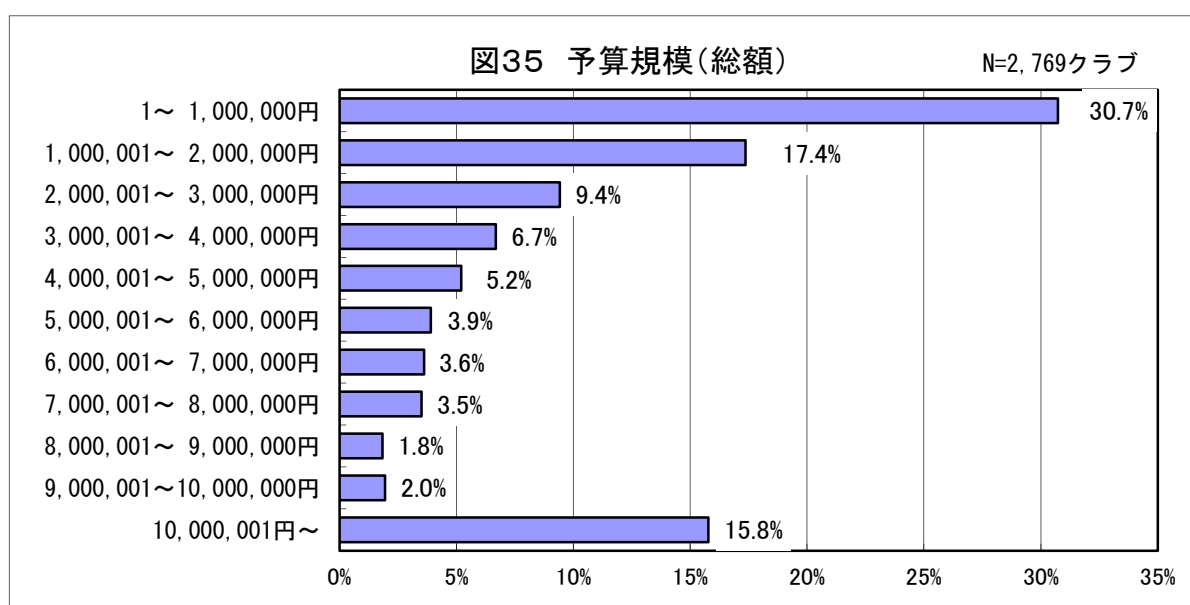
(8) クラブの活動費

クラブの年間予算は、「1～1,000,000円」が30.7%（H24は29.1%）と最も多く、続いて「1,000,001～2,000,000円」が17.4%（H24は17.7%）、「10,000,001円以上」が15.8%（H24は16.9%）となっている。

また、自己財源率をみると、「11～30%」が19.8%（H24は22.7%）と最も多く、続いて「91～100%」が18.5%（H24は17.1%）、「31～50%」が16.5%（H24は17.1%）、「51～70%」が14.3%（H24は13.6%）、となっている。

全体の53.6%（H24は56.7%）のクラブは、自己財源率が50%以下となっている。

※「自己財源率」とは、自己財源を「会費・事業費・委託費」とし、これらが全体収入に占める割合をいう。



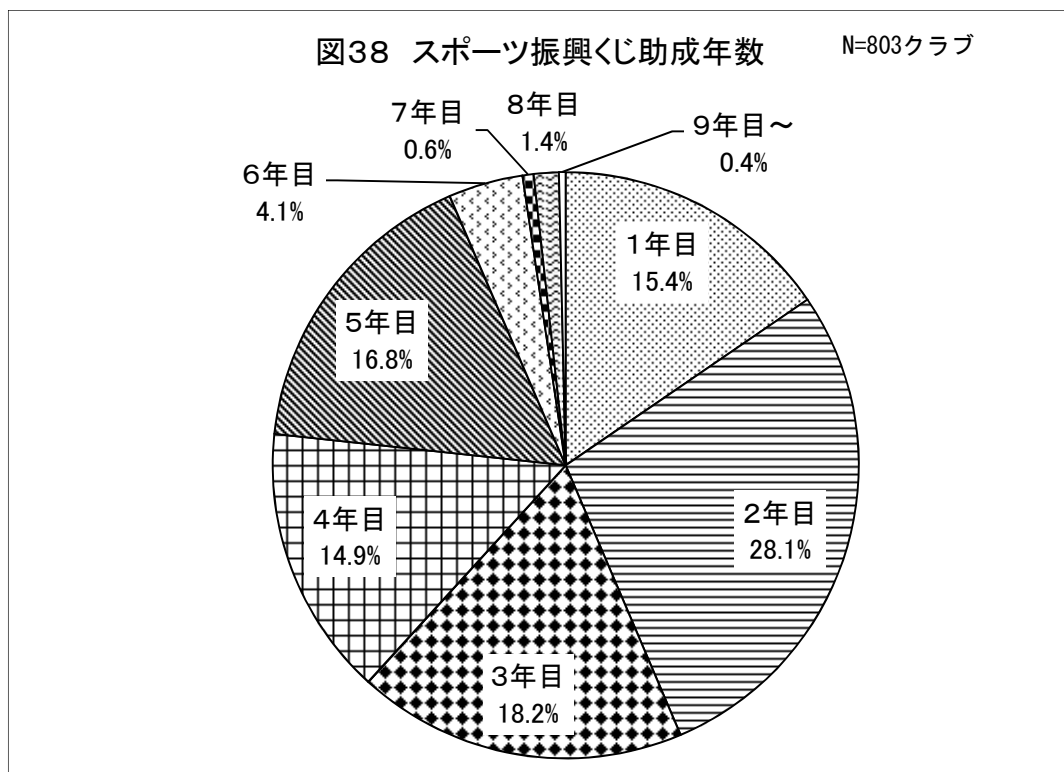
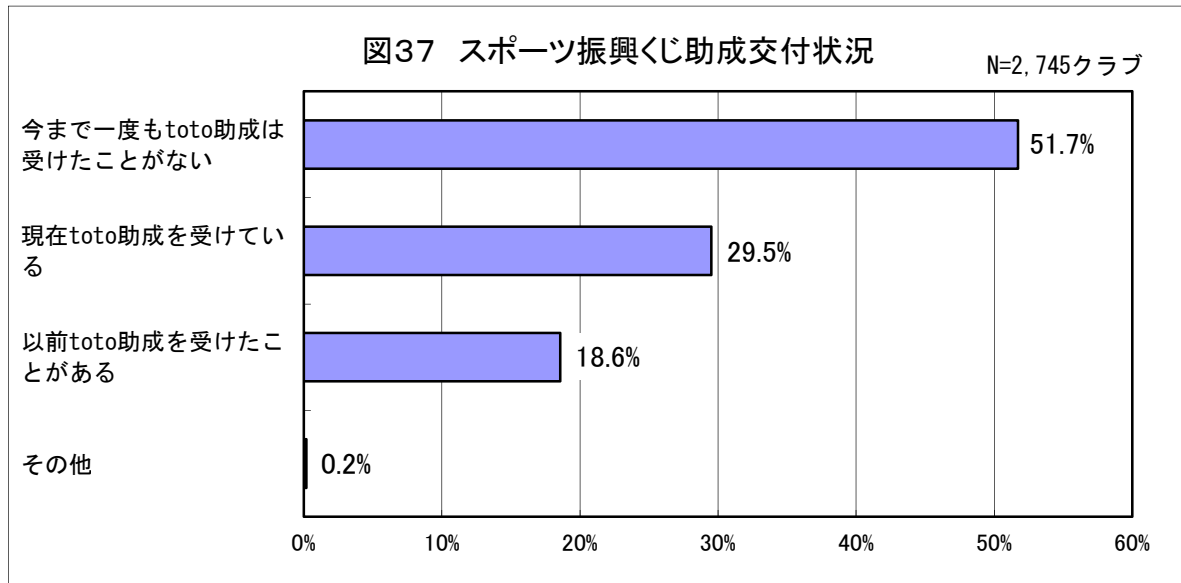
※縦軸の数値について、0.1%以上は、上の項目に含まれる。

(例) 10.1%は、11～30%に含まれる。

(9) スポーツ振興くじ助成

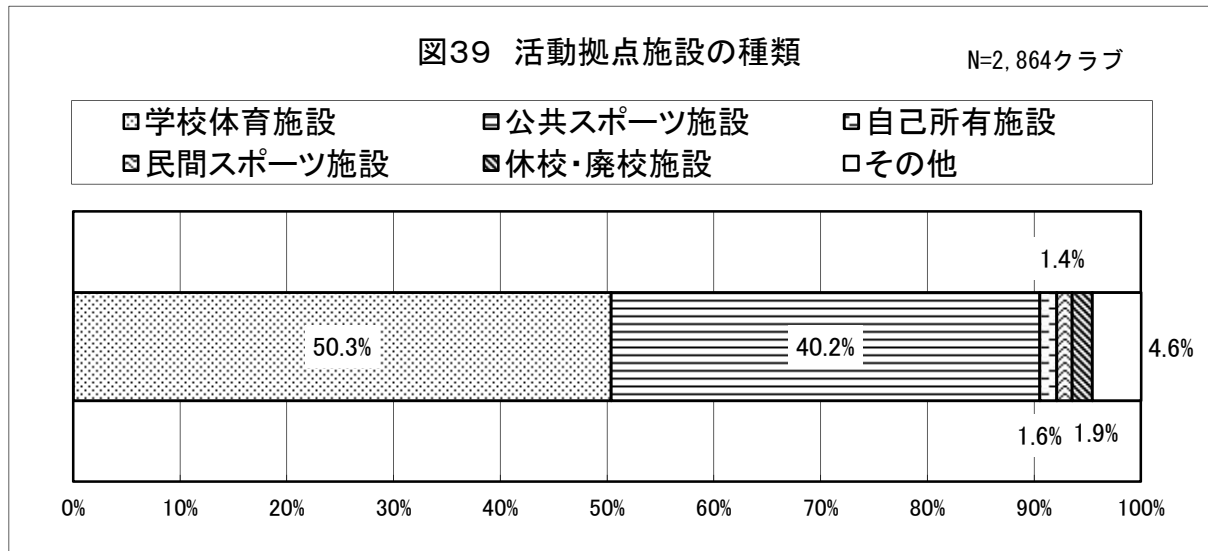
スポーツ振興くじ助成（toto助成）の交付を受けているかについては、「今まで一度もtoto助成は受けたことがない」が51.7%と最も多く、続いて「現在toto助成を受けている」が29.5%、「以前toto助成を受けたことがある」が18.6%となっている。

また、助成年数をみると、「2年目」が28.1%と最も多く、続いて「3年目」が18.2%、「5年目」が16.8%などとなっている。



(10) クラブの活動拠点施設

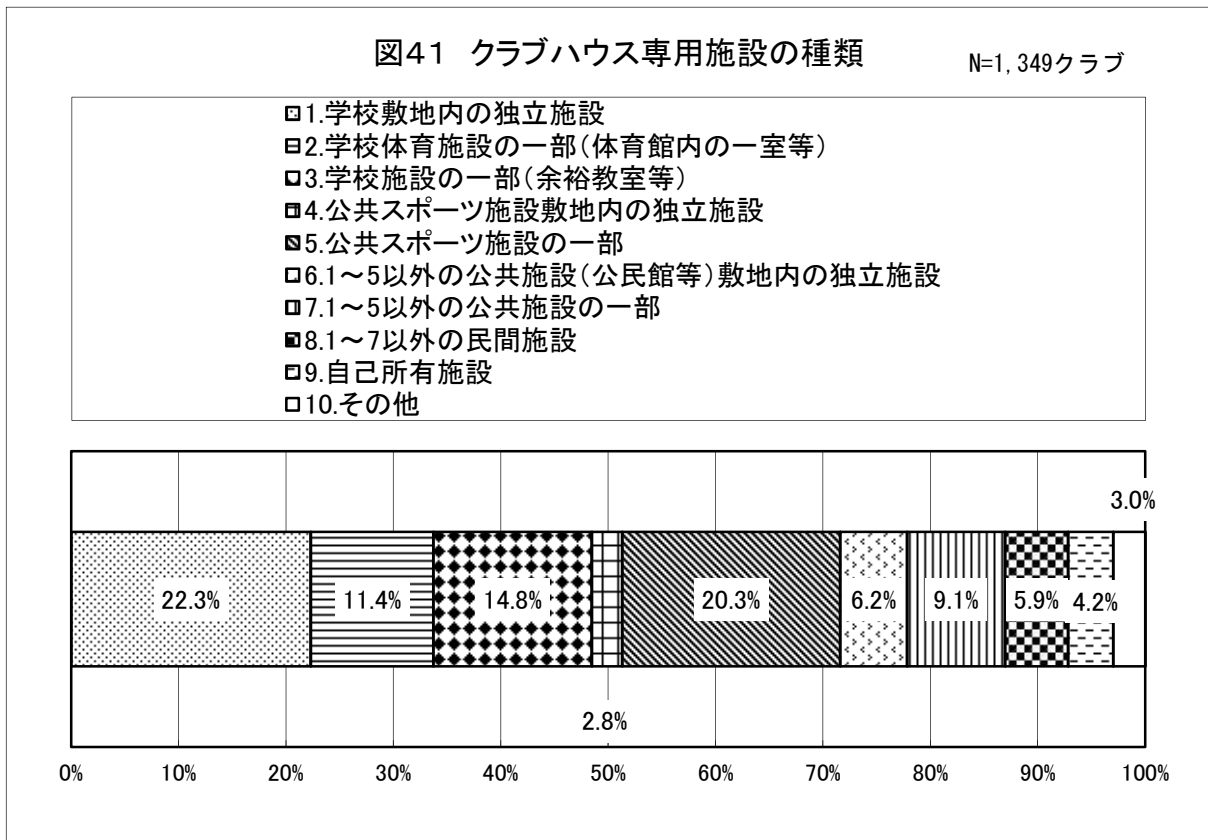
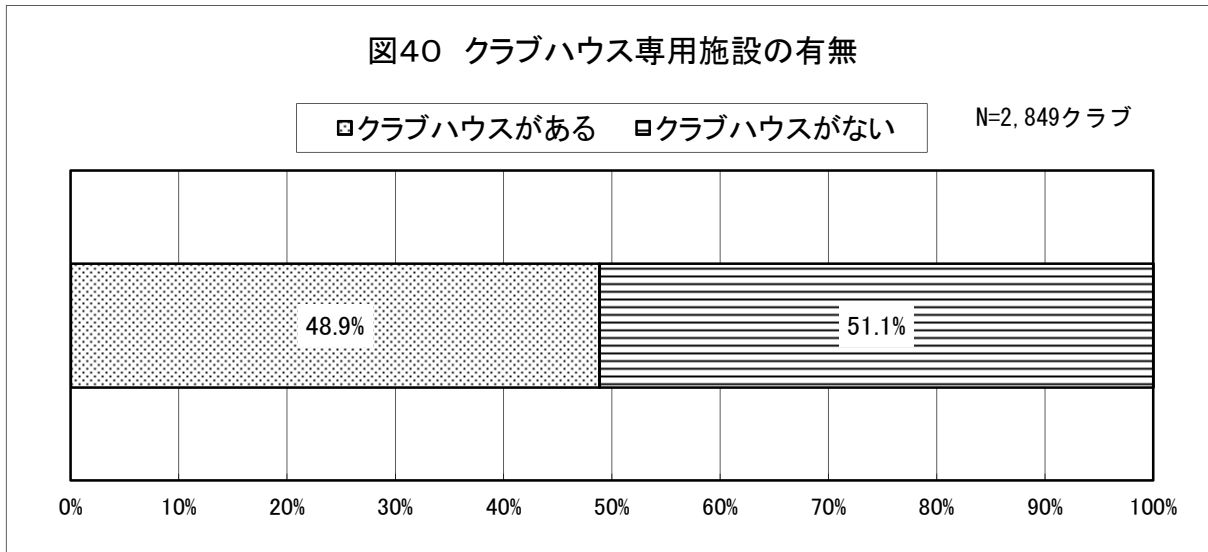
活動拠点施設の種類は、「学校体育施設」が 50.3% (H24 は 48.2%) で最も多く、「公共スポーツ施設」が 40.2% (H24 は 42.1%)、「休校・廃校施設」が 1.9% (H24 は 1.8%)、「自己所有施設」が 1.6% (H24 は 1.6%)、「民間スポーツ施設」が 1.4% (H24 は 1.4%) などとなっている。



(11) クラブハウス

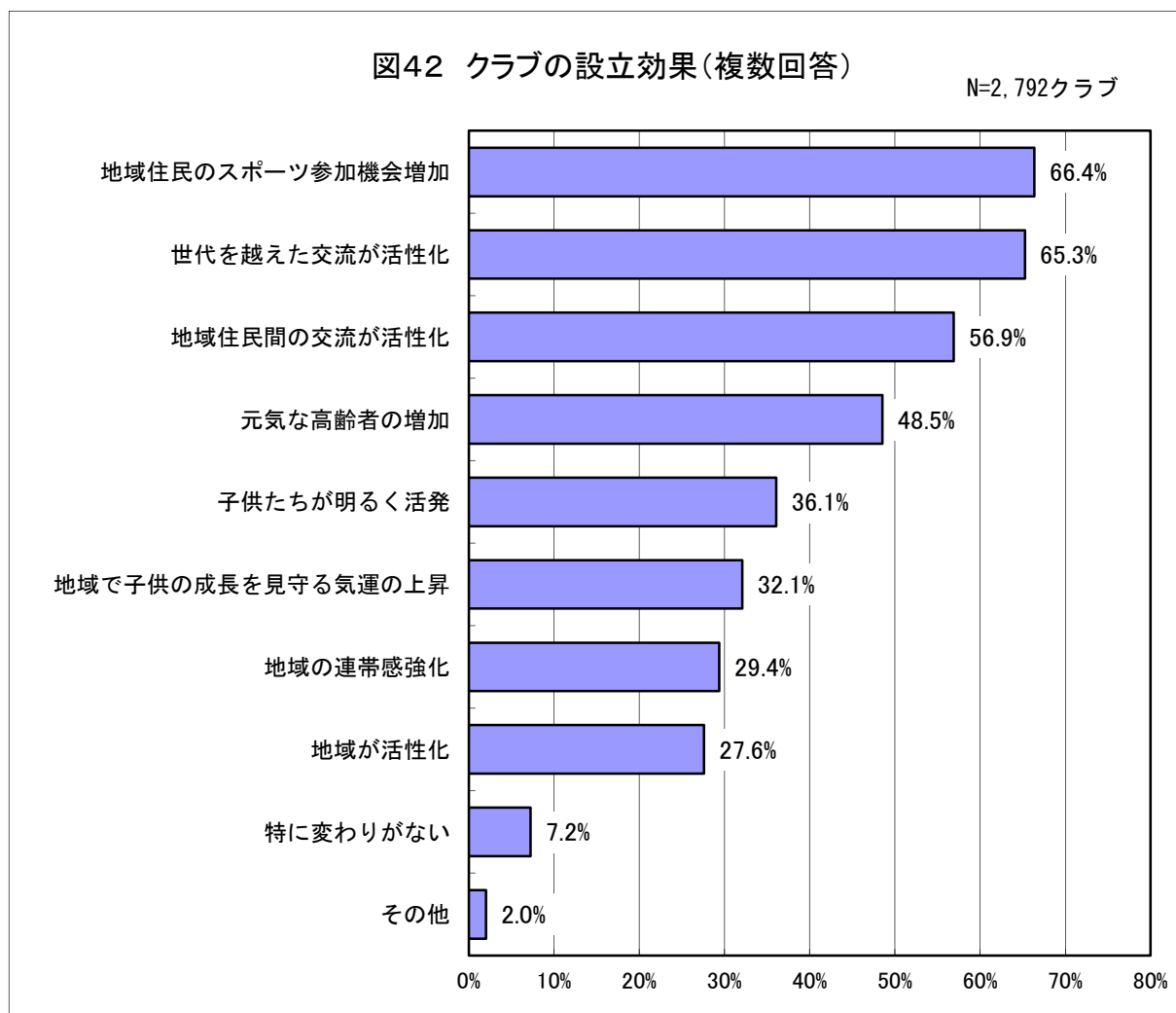
クラブハウスの確保については、「クラブハウスがある」が 48.9%（H24 は 46.8%）、「クラブハウスがない」が 51.1%（H24 は 53.2%）となっている。

クラブハウスの種類は、「学校敷地内の独立施設」が 22.3%（H24 は 21.1%）、「公共スポーツ施設の一部」が 20.3%（H24 は 23.0%）、「学校施設の一部（余裕教室等）」が 14.8%（H24 は 10.3%）、「学校体育施設の一部（体育館内の一室等）」は 11.4%（H24 は 11.7%）などとなっている。



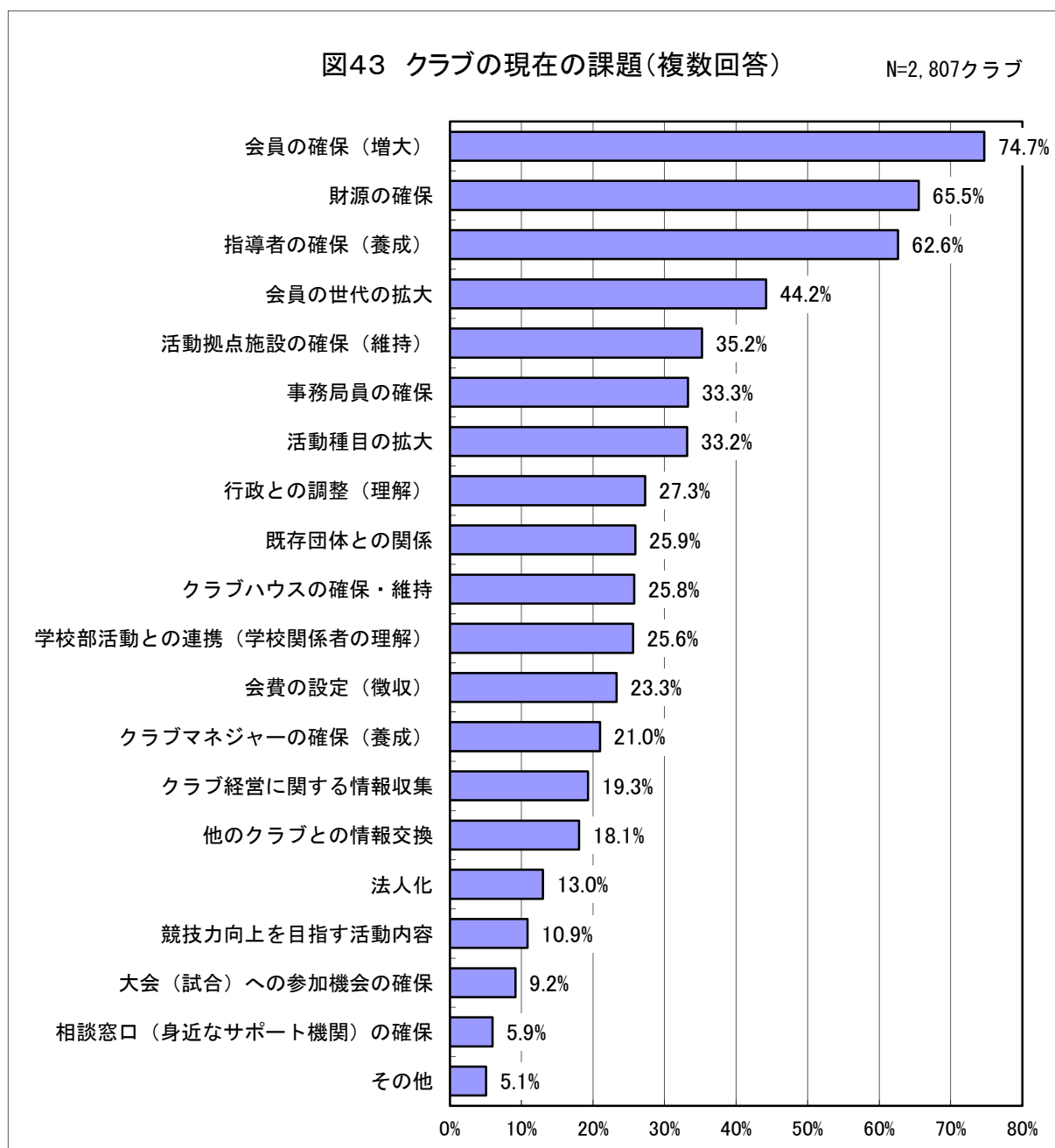
(12) クラブの設立効果

クラブ設立による地域の変化は、「地域住民のスポーツ参加機会増加」が66.4%(H24は65.7%)、「世代を越えた交流が活性化」が65.3%(H24は63.4%)、「地域住民間の交流が活性化」が56.9%(H24は53.5%)、「元気な高齢者の増加」が48.5%(H24は45.8%)、「子供たちが明るく活発」が36.1%(H24は33.7%)などとなっている。



(13) クラブの現在の課題

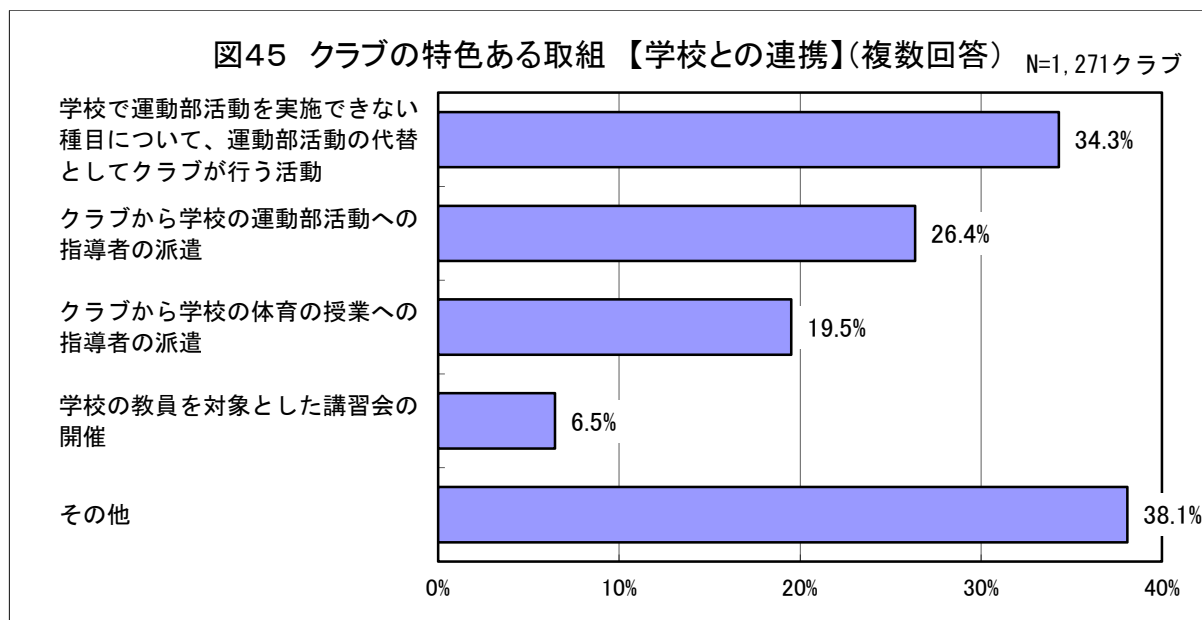
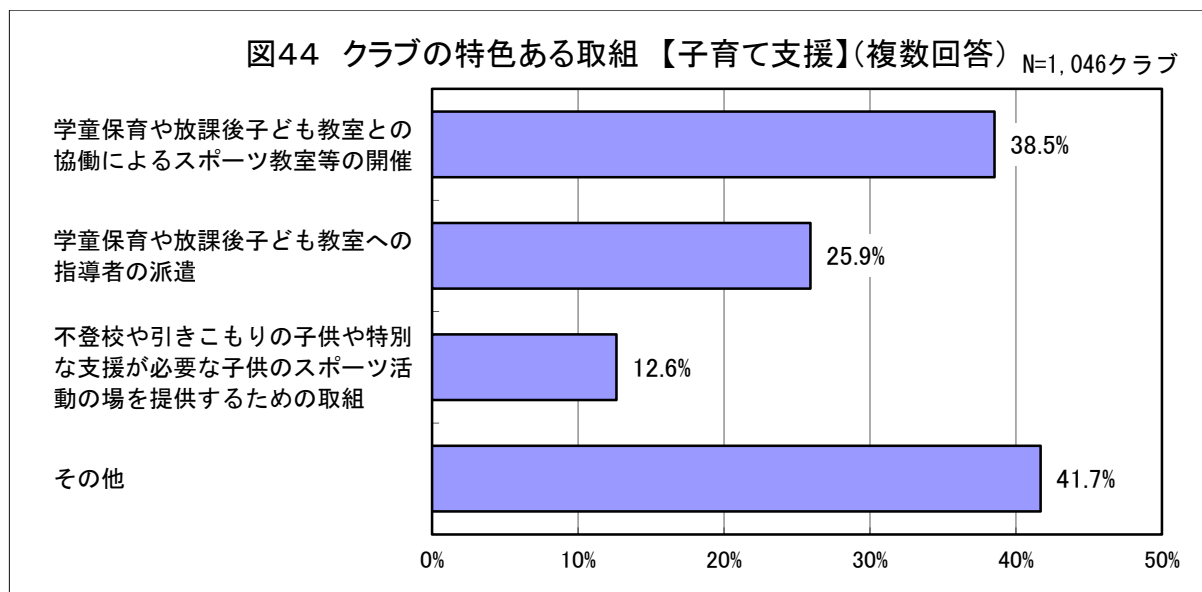
クラブの現在の課題は、「会員の確保（増大）」が74.7%（H24は73.7%）、「財源の確保」が65.5%（H24は63.6%）、「指導者の確保（養成）」が62.6%（H24は61.6%）、「会員の世代の拡大」が44.2%（H24は43.6%）などとなっている。



(14) クラブの特色ある取組

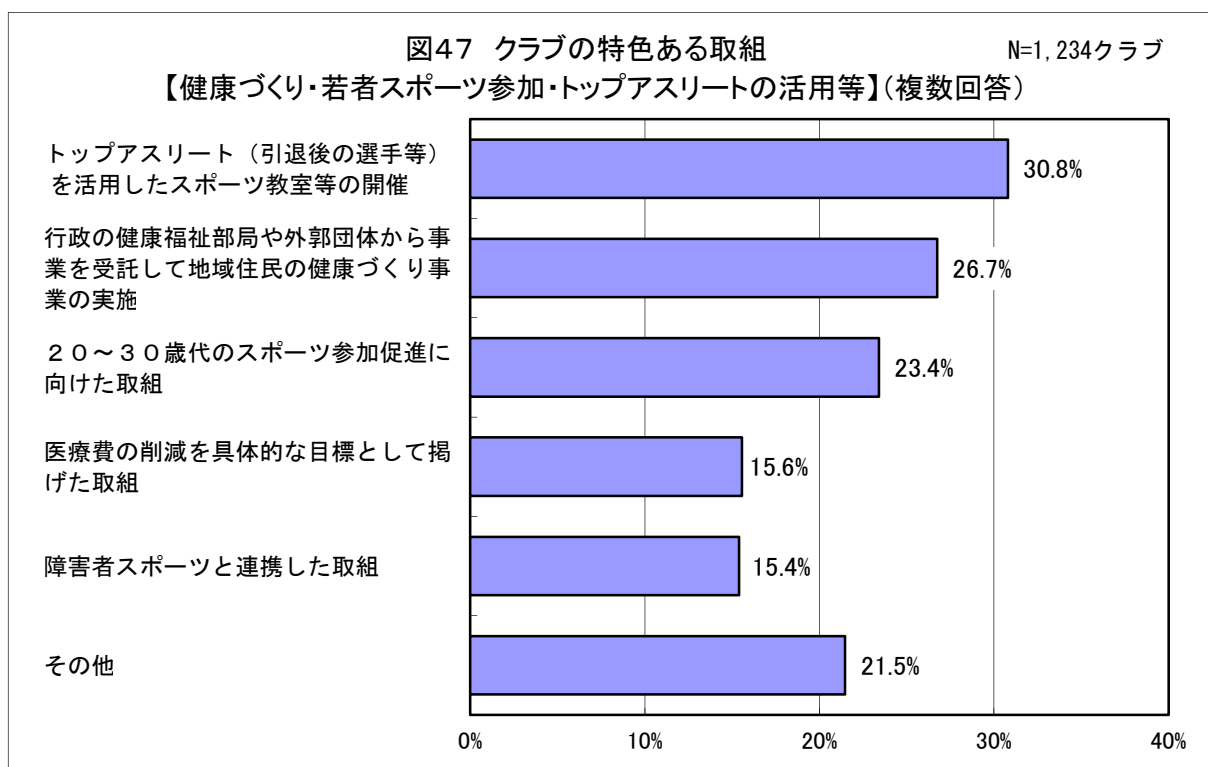
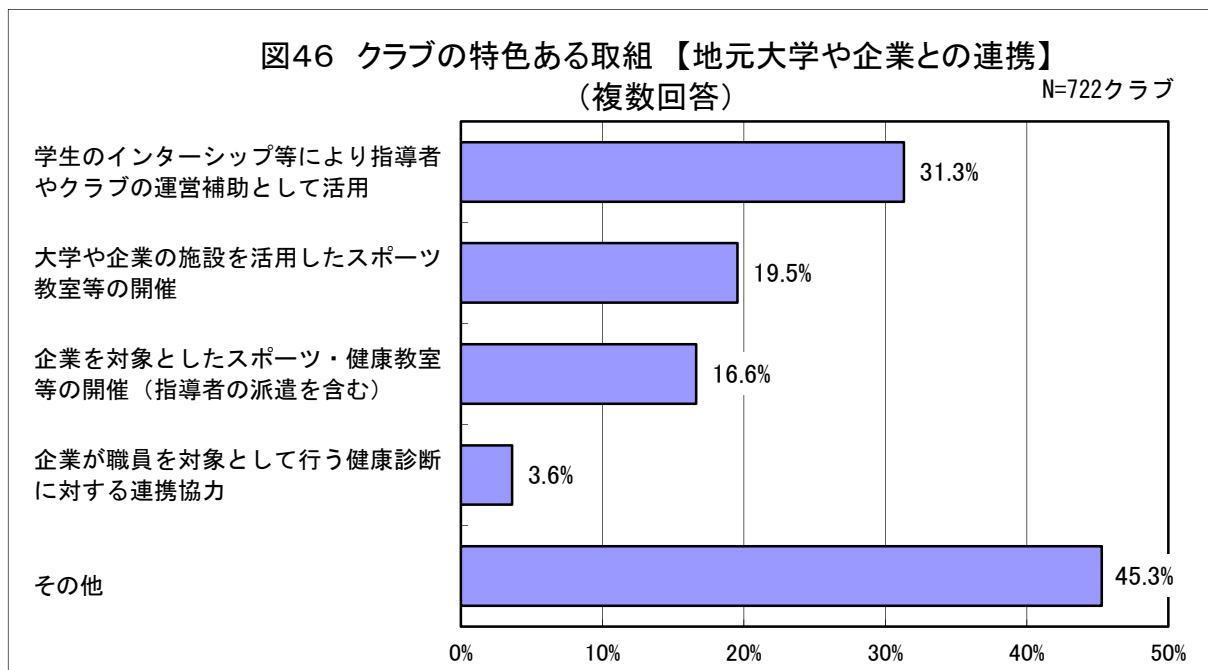
クラブの特色ある取組として、【子育て支援】に取り組んでいるクラブの中では、「学童保育や放課後子ども教室との協働によるスポーツ教室等の開催」が最も多く38.5%（H24は36.5%）となっている。

【学校との連携】に取り組んでいるクラブの中では、「学校で運動部活動を実施できない種目について、運動部活動の代替としてクラブが行う活動」が最も多く34.3%（H24は33.1%）となっている。

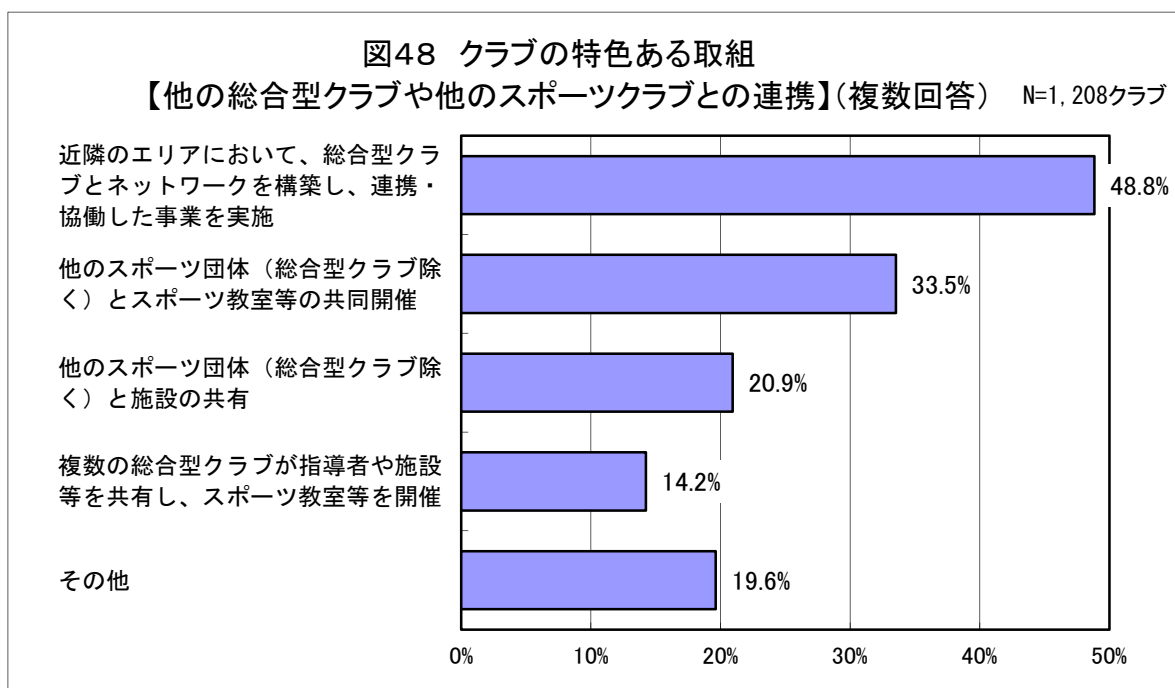


【地元大学や企業との連携】に取り組んでいるクラブの中では、「学生のインターンシップ等により指導者やクラブの運営補助として活用」が最も多く31.3%（H24は35.8%）となっている。

【健康づくり・若者スポーツ参加・トップアスリートの活用等】に取り組んでいるクラブの中では、「トップアスリート（引退後の選手等）を活用したスポーツ教室等の開催」が最も多く30.8%（H24は25.1%）となっている。



【他の総合型クラブや他のスポーツクラブとの連携】に取り組んでいるクラブの中では、「近隣のエリアにおいて、総合型クラブとネットワークを構築し、連携・協働した事業を実施」が最も多く 48.8%となっている。



平成25年度
総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果
概 要

平成25年12月
文部科学省スポーツ・青少年局
スポーツ振興課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL 03-6734-2998

FAX 03-6734-3792

担当 舟木 泰世

山元 真理子